

大飯発電所第 3 号機（ 4 号機）  
火災感知器増設に係る  
設計及び工事計画認可申請

補足説明資料  
(抜粋)

: 前回からの修正又は追加箇所

2021年3月  
関西電力株式会社

## <目次>

1. 火災感知器の性能に係るもの
  - 1-1 アナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、アナログ式でない炎感知器及びアナログ式でない熱感知器について
  - 1-2 アナログ式でない防爆型の炎感知器について
  - 1-3 熱を感知できる光ファイバケーブルについて
  - 1-4 熱サーモカメラ、アナログ式でない防水型の炎感知器について
  - 1-5 感知器と同等の機能を有する機器の環境性能について
2. 火災感知器の配置に係るもの
  - 2-1 火災区域又は火災区画の火災感知器の設置個数について
  - 2-2 火災区域又は火災区画の火災感知器の配置図について **抜粋**
  - 2-3 火災感知器の配置設計における消防設備士の確認項目について
  - 2-4 火災感知器の配置設計における関西電力と協力会社の責任分担及び消防設備士関与の品質プロセスについて
3. 消防法施行規則の設置条件と異なる感知設計に係るもの
  - 3-1 火災区域・区画の特性に応じた感知設計について
  - 3-2 原子炉格納容器の火災感知器設計について
  - 3-3 海水管トンネルエリアの火災感知器設計について
  - 3-4 燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアの火災感知器設計について
  - 3-5 固体廃棄物貯蔵庫の火災感知器設計について
  - 3-6 放射線量が高い場所を含むエリアの火災感知器設計について
  - 3-7 海水ポンプエリアの火災感知器設計について **当該項目から一部抜粋**
  - 3-8 空冷式非常用発電装置エリアの火災感知器設計について
  - 3-9 使用済燃料ピットエリア及び新燃料貯蔵庫エリアの火災感知器設計について
  - 3-10 燃料取替用水ピットエリア及び復水ピットエリアの火災感知器設計について
4. 火災受信機盤に係るもの
  - 4-1 火災受信機盤の機能について
  - 4-2 消火設備用感知器の流用について
5. その他
  - 5-1 本設計及び工事計画の申請範囲について
  - 5-2 条文整理表について
  - 5-3 設計及び工事計画認可申請書に添付する書類の整理について

5-4 火災感知設備増設における「工事の方法」の該当箇所について

5-5 火災感知設備の耐震性について

参考資料-1 火災感知設備の技術基準規則上の整理について

参考資料-2 感知区画の定義について

今回修正箇所、追加箇所を赤枠記載とします。

2-1 火災区域又は火災区画の火災感知器の設置個数について

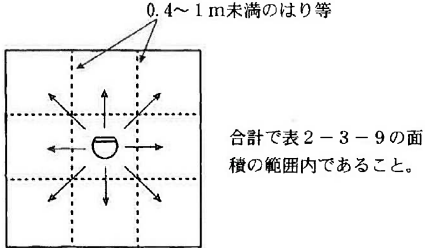
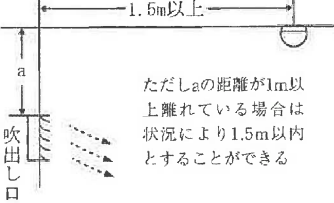
火災感知器の選定においては、設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を火災防護に関する説明書4.2(1)b.項に示す通り、消防法に準じて選定する設計とする。火災感知器の取付方法や設置個数については、消防法施行規則第23条第4項に基づき設置する設計とする。

また、火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については、消防設備士の確認を受け、消防法施行規則に則り設置する設計とする。

上記を踏まえた火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例について、表2-1-1に示す。なお、2-1資料においては、放射線量が高い場所を含むエリアを「高放射線エリア」と略す。

なお、火災感知器の配置設計にあたり、消防法施行規則第23条第4項に基づいた個数を「必要数」欄に記載し、消防法施行規則第23条第4項に基づき設置するものは「消防法適合確認」欄に○を付与するものとし、その他の設計に基づき設計を行ったものは、「消防法適合確認」欄に以下の凡例を記載するものとする。

凡例	凡例理由																													
A :	<p>煙感知器</p> <p>はり等の深さが0.6m以上1m未満で、図2-3-108(a)、(b)のように小区画が連続している場合は、表2-3-15に示す面積の範囲内ごとに同一感知区域とすることができる。ただし、表に示す面積の範囲内で、かつ、感知器を設置した区画に他の区画が接していること。</p> <p>また、0.6m以上1m未満のはり等によって区画された10m<sup>2</sup>以下の小区画が1つ隣接している場合は、当該小区画を含めて同一感知区域とすることができる。この場合の感知器は小区画に近接するように設けること。なお、小区画を含めた合計面積は、感知器の種別によって定められている感知面積の範囲内であること。</p> <div style="text-align: center;"> <p>0.6~1m未満のはり等</p> <p>0.6~1m未満のはり等</p> <p>(a) (b)</p> <p>図2-3-108</p> </div> <p>表2-3-15</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">感知器種別</th> <th>取付け面の高さ</th> <th colspan="4">感知面積の合計 (m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>4m未満</th> <th>4m以上 8m未満</th> <th>8m以上 15m未満</th> <th>15m以上 20m未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td></td> <td>60</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td></td> <td>60</td> <td>60</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3種</td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>引用元：日本火災報知器工業会 自動火災報知設備工事基準書</p>	感知器種別	取付け面の高さ	感知面積の合計 (m <sup>2</sup> )					4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満	1種		60	60	40	40	2種		60	60	40		3種		20			
感知器種別	取付け面の高さ		感知面積の合計 (m <sup>2</sup> )																											
		4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満																									
1種		60	60	40	40																									
2種		60	60	40																										
3種		20																												

<p>B : 熱感知器</p>	<p>はり等の深さが 0.4m 以上 1m 未満で小区画が連続している場合は、表 2-3-9 に示す面積の範囲内ごとに同一の感知区域とすることができる。この場合、図 2-3-32 のように、各小区画は感知器を設置した区画に隣接していなければならない。</p> <p>また、0.4m 以上 1m 未満のはり等によって区画された 5m<sup>2</sup> 以下の小区画が 1 つ隣接している場合は、当該小区画を含めて同一感知区域とすることができる。この場合、感知器は小区画に近接するように設けること。なお、小区画を加えた合計面積は、感知器の種別によって定められている感知面積の範囲内であること。</p> <p>表 2-3-9</p> <table border="1" data-bbox="387 611 850 880"> <thead> <tr> <th rowspan="2">感知器種別</th> <th colspan="2">感知区域</th> <th colspan="2">合計面積</th> </tr> <tr> <th>構造</th> <th>耐火</th> <th>その他</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">差動式スポット型</td> <td>1 種</td> <td>20m<sup>2</sup></td> <td>15m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 種</td> <td>15m<sup>2</sup></td> <td>10m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補償式スポット型</td> <td>1 種</td> <td>20m<sup>2</sup></td> <td>15m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 種</td> <td>15m<sup>2</sup></td> <td>10m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">定温式スポット型</td> <td>特 種</td> <td>15m<sup>2</sup></td> <td>10m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 種</td> <td>13m<sup>2</sup></td> <td>8m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱アナログ式スポット型</td> <td></td> <td>15m<sup>2</sup></td> <td>10m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>図 2-3-32</p> <p>引用元：日本火災報知器工業会 自動火災報知設備工事基準書</p>	感知器種別	感知区域		合計面積		構造	耐火	その他		差動式スポット型	1 種	20m <sup>2</sup>	15m <sup>2</sup>		2 種	15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>		補償式スポット型	1 種	20m <sup>2</sup>	15m <sup>2</sup>		2 種	15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>		定温式スポット型	特 種	15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>		1 種	13m <sup>2</sup>	8m <sup>2</sup>		熱アナログ式スポット型		15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>	
感知器種別	感知区域		合計面積																																							
	構造	耐火	その他																																							
差動式スポット型	1 種	20m <sup>2</sup>	15m <sup>2</sup>																																							
	2 種	15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>																																							
補償式スポット型	1 種	20m <sup>2</sup>	15m <sup>2</sup>																																							
	2 種	15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>																																							
定温式スポット型	特 種	15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>																																							
	1 種	13m <sup>2</sup>	8m <sup>2</sup>																																							
熱アナログ式スポット型		15m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>																																							
<p>C : 煙感知器</p>	<p>感知器配置を明確にするため、感知器サイズを大きく記載していることから干渉しているが、現場は「壁面」「0.6m 以上の梁」からは 0.6m 以上の離隔が確保されている。また、吹き出し口から 1.5m 以上の離隔が確保されている。</p>																																									
<p>D : 熱感知器</p>	<p>感知器配置を明確にするため、感知器サイズを大きく記載していることから干渉しているが、吹き出し口から 1.5m 以上の離隔が確保されている。</p>																																									
<p>E : 熱感知器</p>	<p>吹き出し口から感知器の鉛直方向距離（下図 a）は 1m 以上確保されており、1.5m 以内でも問題ない。</p>  <p>引用元：日本火災報知器工業会 自動火災報知設備工事基準書</p>																																									
<p>F</p>	<p>欠番</p>																																									
<p>G : 煙、熱感知器</p>	<p>取付面高さが 8m 未満のグレーチング天井の場合、感知区画の面積に応じた個数を設置し、その取付面はグレーチングを天井とみなし設計する。（消防受容性確認済の設計：梁部分などに政令で定める技術上の基準に従って設置すれば、階層ごとに警戒する設計（グレーチングを床とする設計）は地元消防に受容されている。）</p>																																									

<p>H :</p> <p>煙、 熱、 炎感 知器</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要構造物を耐火構造とした天井裏の部分については感知器を設置しない。（参考1） （消防法施行令 第21条第2項三）</li> <li>・シャワー室には感知器を設置しない。 （昭和44年7月7日 消防予第190号）</li> <li>・主要構造物を耐火構造とした防火対象物の部分で、次のいずれかに該当するパイプシャフト、パイプダクト、ダストシュートその他これらに類するものには感知器を設置しない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 吸排気ダクトで、風速が常時5m/sec以上のもの （京都市消防局 消防用設備等の運用基準 基準24 自動火災報知設備の設置及び維持に関する基準 第3、3項、（8））</li> </ul> </li> <li>・上屋その他外部の気流が流通する場所で、感知器によっては当該場所における火災の発生を有効に感知することができないものには感知器を設置しない。 （消防法施行規則 第23条第4項一ロ）</li> </ul>
<p>I :</p> <p>煙、 熱、 炎感 知器</p>	<p>当該エリアは、放射線量が高い場所を含むエリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。 （参考2～8） （消防法施行規則 第23条第4項一）</p>
<p>J :</p> <p>煙、 熱、 炎感 知器</p>	<p>燃料取替用水ピットエリア及び復水ピットエリアは、ピットの側面と底面は金属で覆われており、ピット内は水で満たされていること及び可燃物を置かず発火源がないことから、火災が発生するおそれはなく、火災感知器を設置しない設計とする。</p>

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (1/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	海水管室 (4号機)	1	4		2.4	82.9	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		2	4		2.4	128	1	2	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		3	4		2.4	117.2	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						3	4	0	0	—	6	2	0	4	—	0	0	0	0	—	
	原子炉補機冷却水ポン プ室 (4号機)	1-1	4		1.7	195.1	2	0	0	2	G	3	1	0	2	G	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		1-2	4		6.6	195.1	3	4	0	0	○	9	3	0	6	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		設置合計数[個]						5	4	0	2	—	12	4	0	8	—	0	0	0	0	—	
	分析室及び出入管理室	1	共用		3.9	17.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		2.4	55	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		2.4	36.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		4	共用		2.4	22.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		5	共用		2.4	12.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		6	共用		2.4	14.2	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		7	共用		2.4	35.6	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		8	共用		2.4	39.5	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		9	共用		3.8	26.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		10	共用		3.8	90.3	3	1	0	2	C	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		11	共用		3.8	8.4	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		12	共用		2.4	74.5	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		13	共用		2.4	171.9	2	0	0	2	○	3	1	0	3	○	0	0	0	0	—		
		14																			—	欠番	
		15																			—	欠番	
		16																			—	欠番	
		17	共用		6.8	72.6	1	0	0	1	○	3	2	0	1	E	0	0	0	0	—		
		18-1	共用		4.0	92.6	1	0	0	1	○	3	2	0	1	E	0	0	0	0	—		
		18-2	共用		2.8	92.6	1	1	0	0	○	3	3	0	0	○	0	0	0	0	—	中2階、吹出し口はなし。	
		19	共用		5.6	104.9	2	3	0	0	○	3	3	0	0	E	0	0	0	0	—		
		20	共用		2.4	12.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		21	共用		2.4	169.2	2	0	0	2	○	3	1	0	3	○	0	0	0	0	—		
		22	共用		2.2	6	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	シャワー室のため設置しない	
	23	共用		2.4	75.2	1	0	0	1	○	2	2	0	2	D	0	0	0	0	—			

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (2/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	分析室及び出入管理室	24	共用		2.3	15	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		25	共用		2.4	8.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	シャワー室のため設置しない	
		26	共用		2.4	195.4	2	0	0	2	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—		
		27																				欠番	
		28																				欠番	
		29	共用		2.4	21	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		30	共用		2.4	11.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		31	共用		2.4	42.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		32	共用		2.4	13.6	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		33	共用		2.4	3.8	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		34	共用		2.4	8.8	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		35	共用		2.4	160.6	3	0	0	3	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		36																				欠番	
		37	共用		2.4	3.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
	38	共用		2.4	4.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
		設置合計数[個]					40	6	0	35	—	54	14	0	44	—	0	0	0	0	—		
	海水管室 (3,4号機)	1-1	3		1.7	192.5	2	0	0	2	G	3	1	0	2	G	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		1-2	3		6.6	192.5	3	4	0	0	○	9	2	0	7	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		設置合計数[個]					5	4	0	2	—	12	3	0	9	—	0	0	0	0	—		
	海水管室 (3,4号機)	1	共用		2.4	124.8	1	2	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		2.3	127.9	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		2.3	116.8	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		4	共用		3.2	98.8	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		5	共用		8.7	6.2	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	に熱感知器1台設置	
	設置合計数[個]					6	7	0	2	—	11	6	0	5	—	0	0	0	0	—			
	原子炉補機冷却水ポン プ室-2 (4号機)	1	4		7.8	228.9	5	2	3	0	A	8	2	0	6	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		2	4		7.8	129.3	4	2	0	2	A	6	1	0	5	○	0	0	0	0	—	グレーチング、一部低天井考慮	
		3-1	4		1.7	26.7	1	0	0	1	G	1	0	0	1	G	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		3-2	4		6.6	26.7	1	0	1	0	A	2	1	0	1	B	0	0	0	0	—	グレーチング	
		4	4		8.3	10.4	0	0	0	0	A	0	0	0	0	—	2	0	0	2	○		
		5	4		5.3	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画1に含む	
	設置合計数[個]					11	4	4	3	—	17	4	0	13	—	2	0	0	2	—			

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (3/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	原子炉補機冷却水ポン プ室-2 (3号機)	1	3		7.8	228.9	5	2	3	0	A	8	2	0	6	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
		2	3		7.8	128.6	4	2	0	2	A	6	2	0	4	○	0	0	0	0	-	グレーチング、一部低天井考慮	
		3-1	3		1.7	26.7	1	0	0	1	G	1	0	0	1	G	0	0	0	0	-	グレーチング下	
		3-2	3		6.6	26.7	1	0	1	0	A	2	1	0	1	B	0	0	0	0	-	グレーチング	
		4	3		8.3	10.4	0	0	0	0	A	0	0	0	0	-	2	0	0	2	○		
		5	3		5.3	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	感知区画1に含む	
		設置合計数[個]						11	4	4	3	-	17	5	0	12	-	2	0	0	2	-	
	空調用冷凍機室 (4号機)	1	4		4.7	212.1	3	3	0	0	○	7	7	0	0	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						3	3	0	0	-	7	7	0	0	-	0	0	0	0	-	
	空調用冷凍機室 (3号機)	1	3		4.7	213.1	3	3	0	0	○	7	7	0	0	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						3	3	0	0	-	7	7	0	0	-	0	0	0	0	-	
	通路	1	共用		2.3	94.5	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-		
		2	共用		2.2	9.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		3	共用		5.3	58.7	1	0	0	1	C	3	2	0	1	○	0	0	0	0	-		
		4	共用		2.3	70.2	5	2	0	3	A	6	2	0	4	B	0	0	0	0	-		
		5	共用		5.2	60	1	0	0	1	C	3	1	0	2	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						9	3	0	6	-	15	5	0	10	-	0	0	0	0	-	
	B 安全補機開閉器室 (4号機)	1	4		5.0	149.1	2	2	0	0	○	5	1	2	2	○	0	0	0	0	-		
		2	4		5.0	133.6	2	2	0	0	○	5	3	1	1	○	0	0	0	0	-		
		3	4		5.0	252.2	4	4	0	0	○	10	2	5	3	D	0	0	0	0	-		
		4	4		5.0	17.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						9	8	0	1	-	21	6	8	7	-	0	0	0	0	-	
	B 蓄電池室 (4号機)	1	4		2.5	29.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						1	1	0	0	-	1	1	0	0	-	0	0	0	0	-	
	A 蓄電池室 (4号機)	1	4		2.5	32.3	1	1	0	0	○	1	0	1	0	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						1	1	0	0	-	1	0	1	0	-	0	0	0	0	-	
	A 安全補機開閉器室 (4号機)	1	4		5.0	119.8	2	2	0	0	C	5	1	3	1	○	0	0	0	0	-		
		2	4		5.0	353.8	5	5	0	0	C	21	6	5	10	D	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]						7	7	0	0	-	26	7	8	11	-	0	0	0	0	-	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (5/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	計算機室(4号機)	1	4		2.6	123.8	1	2	0	0	○	2	3	0	0	D	0	0	0	0	-	
		2	4		4.3	17.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						2	2	0	1	-	3	3	0	1	-	0	0	0	0	-
	1次系補機操作室・運 転員控室・資料室	1	共用		2.6	32.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	-	
		2	共用		2.6	46	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		3	共用		2.6	96.8	1	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						3	2	0	2	-	4	0	0	4	-	0	0	0	0	-
	中央制御室	1-1	共用		2.6	14.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		1-2	共用		2.6	2.8	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		1-3	共用		2.6	8.2	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		1-4	共用		2.6	6.7	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		2-1	共用		3.9	120	1	3	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	
		2-2	共用		3.2	84	2	2	0	0	C	3	0	0	3	○	0	0	0	0	-	
		2-3	共用		3.3	380	3	9	0	0	C	6	2	0	4	D	0	0	0	0	-	
		3	共用		2.6	29.4	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		4	共用		2.6	19	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		5	共用		2.6	22.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	-	
		6	共用		2.4	8.1	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		7	共用		2.6	15.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		8	共用		2.4	11.5	1	0	0	1	C	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-	
		9	共用		2.6	39.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	-	
	10	共用		2.6	49.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	-		
	設置合計数[個]						18	20	0	6	-	23	3	0	20	-	0	0	0	0	-	
	2次系補機操作室	1	共用		2.6	85.3	1	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						1	2	0	0	-	2	0	0	2	-	0	0	0	0	-
	N 1次系継電器室及び 通路(3号機)	1	3		2.6	215.8	2	2	0	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	-	
		2	3		2.6	35.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		3	3		2.6	51.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-	
		4	3		2.6	39.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						5	4	0	1	-	7	2	0	5	-	0	0	0	0	-
	B 1次系継電器室(3号 機)	1	3		2.6	93.8	1	2	0	0	C	2	0	2	0	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						1	2	0	0	-	2	0	2	0	-	0	0	0	0	-

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (6/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	A 1次系継電器室 (3号機)	1	3		2.6	89	1	2	0	0	○	2	0	2	0	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					1	2	0	0	—	2	0	2	0	—	0	0	0	0	—		
	計算機室 (3号機)	1	3		2.6	83.6	1	2	0	0	C	2	0	2	0	D	0	0	0	0	—		
		2	3		2.6	134.3	1	2	0	0	○	2	3	0	0	○	0	0	0	0	—		
		3	3		4.3	22.6	1	1	0	0	○	3	0	0	3	B	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					3	5	0	0	—	7	3	2	3	—	0	0	0	0	—		
	空調ダクトエリア	1	共用		2.6	12.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2-1	共用		7.8	833.2	20	7	6	7	A	34	2	0	32	D	0	0	0	0	—		
		2-2	共用		2.9	34.8	1	0	1	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2-3	共用		2.9	12.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		3.6	34.2	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	中央制御室横通路天井裏のため	
		4	共用		4.6	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画2-1に含む	
		5	共用		5.0	350.8	6	2	1	3	○	11	1	0	10	○	0	0	0	0	—	の中間床	
	設置合計数[個]					29	9	8	12	—	48	3	0	45	—	0	0	0	0	—			
	空調ダクトエリア-2	1	共用		2.6	12.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2-1	共用		7.8	598.1	15	3	9	3	A,C	23	0	0	23	B	0	0	0	0	—		
		2-2	共用		2.9	17	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		3.6	60.5	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	中央制御室横通路天井裏のため	
		4	共用		7.8	12.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		5	共用		7.8	45.5	1	1	0	0	A	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		6	共用		7.3	70.6	2	0	0	2	A	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—		
		7	共用		4.6	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画2-1に含む	
	8	共用		5.0	350.9	6	2	2	2	○	11	1	0	10	○	0	0	0	0	—	の中間床		
	設置合計数[個]					27	6	11	10	—	44	1	0	43	—	0	0	0	0	—			
	中央制御室非常用循環 フィルタユニット室 (3号機)	1	3		2.9	32.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
	設置合計数[個]					1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—			
	中央制御室非常用循環 フィルタユニット室 (4号機)	1	4		2.9	32.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	D	0	0	0	0	—		
	設置合計数[個]					1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—			
	コールド電気室・出入 管理室温水タンク室	1	共用		2.7	61	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		2.7	23	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		7.3	83.2	2	1	0	1	A	5	1	0	4	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					4	3	0	1	—	7	1	0	6	—	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (7/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	2次系継電器室	1	共用		2.7	125.4	1	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-		
		2	共用		2.7	244	2	3	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					3	5	0	0	-	6	0	0	6	-	0	0	0	0	-		
	A階段	1	4		-	-	3	2	0	1	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					3	2	0	1	-	6	0	0	6	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	B階段	1	3		-	-	2	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					2	2	0	0	-	3	0	0	3	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	C階段	1	34		-	-	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	-	2	0	0	2	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	F階段	1	4		-	-	2	0	0	2	○	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○		
		設置合計数[個]					2	0	0	2	-	1	0	0	1	-	1	0	0	1	-	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	補助蒸気ドレンタンク 及びポンプ室	1	共用		4.2	108.1	2	1	0	1	C	4	3	0	1	D	0	0	0	0	-		
		2	共用		4.2	17.5	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-		
		3	共用		-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	感知区画1に含む	
		設置合計数[個]					4	1	0	3	-	6	3	0	3	-	0	0	0	0	-		
	1次系循環タンク及びボ ンプ室	1	共用		6.9	46	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	-		
		2	共用		6.9	682.1	16	4	0	12	○	23	4	0	19	D	0	0	0	0	-	一部低天井考慮	
		3	共用		6.9	125.9	3	0	0	3	○	11	0	0	11	○	0	0	0	0	-		
		4	共用		6.2	74.6	2	0	0	2	C	4	0	0	4	○	0	0	0	0	-		
		5	共用		7.9	22.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		6	共用		7.9	22.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-		
		7	共用		4.6	87.2	2	1	0	1	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	-		
		8	共用		7.8	36.1	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	グレーチング、一部低天井考慮	
		9	共用		7.8	30	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
		10	共用		3.5	27.7	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-		
		11	共用		7.7	29.6	2	1	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	低天井考慮	
		12	共用		7.8	70.7	1	0	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
		13	共用		4.4	26.4	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-		
		14	共用		7.4	118.1	3	1	0	2	○	5	1	0	4	D	0	0	0	0	-		
		15-1	共用		7.6	199.6	4	0	0	4	○	16	0	0	16	○	0	0	0	0	-		
		15-2	共用		4.7	245	4	1	0	3	○	7	2	0	5	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
	16	共用		7.9	101.2	2	1	0	1	○	9	0	0	9	B	0	0	0	0	-	グレーチング		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (8/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
		17	共用		4.0	58.9	1	0	0	1	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	
		18	共用		7.9	102.8	2	1	0	1	○	9	0	0	9	B	0	0	0	0	—	グレーチング
		19	共用		7.8	36.1	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	グレーチング、一部低天井考慮
		20	共用		7.8	30.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング
		21	共用		3.5	27.7	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		22	共用		7.9	68.1	1	1	0	0	○	2	0	0	2	D	0	0	0	0	—	
		23																				欠番
		24	共用		2.4	125.7	3	0	0	3	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	
		25	共用		5.0	10.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		26	共用		4.3	29	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
	1次系循環タンク及びポンプ室	27	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画9に含む
		28	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画20に含む
		29	共用		4.3	29	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		30	共用		2.4	46.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		31	共用		2.3	6.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		32	共用		2.4	158.2	2	0	0	2	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	
		33																				欠番
		34	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画16に含む
		35	共用		3.4	44.8	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		36	共用		2.4	9.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		37	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画18に含む
		設置合計数[個]					67	17	0	50	—	123	13	0	110	—	0	0	0	0	—	
		1	共用		8.2	32.2	1	0	0	0	I	0	0	0	0	I	2	0	0	0	I	高放射線エリアで立入不可のため
		2	共用		8.2	32.2	1	0	0	0	I	0	0	0	0	I	2	0	0	0	I	高放射線エリアで立入不可のため
		3	共用		6.9	46.8	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		4	共用		6.7	14	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	共用		6.8	38.9	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		6	共用		6.7	62.4	1	0	0	1	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	
		7	共用		6.7	63.4	1	0	0	1	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					7	2	0	3	—	17	2	0	15	—	4	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (9/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
濃縮廃液貯蔵タンク室 及び固体廃棄物処理エ リア	1	共用		9.8	75.3	2	2	0	0	○	0	2	0	0	—	2	0	0	2	○			
	2	共用		6.8	92.2	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—			
	3	共用		6.9	8.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—			
	4	共用		6.8	26.2	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—			
	5	共用		6.2	131.4	2	1	0	1	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—			
	6	共用		6.2	26.3	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
	7	共用		6.8	44.5	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—			
	8	共用		6.8	43.7	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—			
	9	共用		6.5	110.8	2	2	0	0	○	4	2	0	2	○	0	0	0	0	—			
	設置合計数[個]						14	8	0	6	—	19	7	0	14	—	2	0	0	2	—		
冷却材貯蔵タンク室	1	共用		15.0	75.3	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	8	0	0	8	○	グレーチング		
	2	共用		15.0	75.3	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	8	0	0	8	○	グレーチング		
	3	共用		15.0	79.5	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	8	0	0	8	○	グレーチング		
	4	共用		6.8	9.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
	5	共用		6.9	110.2	3	1	0	2	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮		
	6	共用		7.9	118.6	2	1	0	1	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—			
	7	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画3に含む		
設置合計数[個]						12	2	0	10	—	10	1	0	9	—	24	0	0	24	—			
固体廃棄物処理エ リア	1	共用		7.8	103	2	1	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	—			
	2	共用		7.8	11.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
	3	共用		7.9	56.3	2	1	0	1	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮		
	4	共用		7.9	33.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—			
	5	共用		7.9	23.8	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—			
	6	共用		7.9	35.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	—			
	7	共用		7.3	25.3	2	1	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮		
	8	共用		7.9	18.1	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
	9	共用		7.9	30.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
	10	共用		7.9	35.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—			
	11	共用		7.8	80.7	4	0	0	4	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	低天井考慮		
	12	共用		7.3	30	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (10/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	固体廃棄物処理エリア	13	共用		5.0	14.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		14	共用		4.8	43.8	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		15	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画2に含む	
		16	共用		2.3	31.1	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						21	9	0	12	—	27	9	0	19	—	0	0	0	0	—	
	気体廃棄物処理エリア	1	共用		6.4	124.9	3	1	0	2	○	7	2	0	5	○	0	0	0	0	—		
		2																				欠番	
		3	共用		6.3	147.2	2	0	0	2	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—		
		4																				欠番	
		5																				欠番	
		6	共用		6.6	29.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		7	共用		6.6	22.4	2	1	0	1	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		8	共用		6.6	16.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		9	共用		6.6	75.5	2	1	0	1	A	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		10	共用		6.6	33.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		11	共用		3.2	12.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		12	共用		3.2	12.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		13	共用		3.2	6.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		14	共用		6.6	32.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		15	共用		6.6	9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		16	共用		6.6	14.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		17	共用		3.5	7.8	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		18	共用		6.6	21.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		19	共用		3.2	16	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		20	共用		3.5	6.5	2	0	0	2	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		21	共用		6.7	11.4	1	0	0	1	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		22	共用		6.7	24.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		23	共用		6.5	5.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		24	共用		6.5	5.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		25	共用		6.5	5.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		26	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		27	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (11/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考		
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認	
		28	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		29	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		30	共用		2.7	17.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		31	共用		6.6	45.4	2	0	0	2	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		32	共用		7.0	237.2	5	3	0	2	○	9	2	0	7	○	0	0	0	0	—		
		33	共用		6.9	2.9	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		34	共用		6.9	2.1	1	0	0	1	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		35	共用		6.9	4.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		36																				欠番	
		37																				欠番	
		38	共用		3.2	7.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
	気体廃棄物処理エリア	39	共用		3.2	7.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		40	共用		3.2	7.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		41	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画10に含む	
		42	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画14に含む	
		43	共用		3.3	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		44	共用		3.0	8.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		45	共用		3.0	3.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		46	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画14に含む	
		47	共用		3.1	15.3	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		48	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画22に含む	
		49	共用		3.2	9	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		50	共用		3.3	81	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					52	9	0	43	—	68	7	0	61	—	0	0	0	0	—		
	固体廃棄物処理エリア	1	共用		6.4	76.4	2	2	0	0	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		6.4	26	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		6.4	265.4	4	4	0	0	○	9	7	0	2	○	0	0	0	0	—		
		4	共用		6.3	91.2	2	2	0	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—		
		5																					欠番
		6	共用		6.6	24.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		7	共用		2.3	5.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		8	共用		6.6	8.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (13/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	補助建屋給気ユニット室	4	共用		8.6	137.1	6	1	0	5	A	0	0	0	0	-	6	0	0	6	○		
		5																				欠番	
		6	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	-	
		7	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	-	
		8	共用		8.6	190.2	6	1	0	5	A	0	0	0	0	-	10	0	0	10	○		
		9																					欠番
		10	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	-	
		11	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	-	
		12																					欠番
		13	共用		3.3	31.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	0	-	
			設置合計数[個]					29	7	0	24	-	7	5	0	6	-	25	0	0	25	-	
		B階段	1	3		-	-	4	2	0	2	○	7	0	0	7	○	0	0	0	0	-	
			設置合計数[個]					4	2	0	2	-	7	0	0	7	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	A階段	1	4		-	-	3	2	0	1	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					3	2	0	1	-	6	0	0	6	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	原子炉格納容器	1																				欠番	
		2	3		5.0	81.4	3	0	0	1	I	4	0	0	1	I	0	0	0	0	-	高放射線エリア、一部[ ]に設置	
		3																					欠番
		4																					欠番
		5-1	3		3.5	632	0	0	0	0	I	11	0	0	15	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		5-2	3		3.5	695	12	1	0	11	C	15	1	0	14	○	0	0	0	0	-		
		5-3	3		7.5	23.5	0	0	0	0	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		5-4	3		2.5	351	0	0	0	0	I	6	0	0	13	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		6-1	3		4.6	1158.8	14	12	0	2	A,C	61	5	0	56	B,D	0	0	0	0	-	グレーチング	
		6-2	3		2.4	708.4	0	0	0	0	I	12	0	0	12	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		6-3	3		3.4	23.5	0	0	0	0	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		7-1	3		7.0	696.6	30	10	0	20	A,C	61	8	0	53	B,D	0	0	0	0	-	グレーチング	
		7-2	3		2.5	580	8	0	0	8	I	10	12	0	0	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		7-3	3		5.2	23.5	1	0	0	1	C,I	1	0	0	1	D,I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		7-4	3		4.2	26.5	1	0	0	1	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		7-5	3		7.0	5.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
	8-1	3		2.5	192.8	0	0	0	0	I	5	0	0	9	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (14/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	原子炉格納容器	8-2	3		5.0	966.1	15	5	0	10	A,C	26	5	0	21	○	10	0	0	10	○	
		8-3	3		2.5	277	4	0	0	4	I	5	0	0	9	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング
		8-4	3		2.5	4.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	-	
		8-5	3		2.5	4.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	-	
		9-1	3		2.6	25	1	0	0	2	I	1	2	0	0	I	10	0	0	10	○	高放射線エリア
		9-2	3		5.1	307.7	8	0	0	8	A,C	24	0	0	24	○	12	0	0	12	○	グレーチング
		設置合計数[個]						100	28	0	71	-	248	33	0	234	-	32	0	0	32	-
	海水管室	1	3		2.3	301.5	3	3	0	0	○	5	2	0	3	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						3	3	0	0	-	5	2	0	3	-	0	0	0	0	-
	海水管室	1	3		2.4	300.2	3	3	0	0	○	5	2	0	3	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						3	3	0	0	-	5	2	0	3	-	0	0	0	0	-
	Bディーゼル発電機室	1	3		6.5	69	3	2	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	-	
		2	3		7.2	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	グレーチング
		3	3		5.9	18.7	2	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	一部低天井考慮
		4	3		7.0	201.2	4	4	0	0	○	6	3	0	3	○	0	0	0	0	-	
		5	3		3.8	59.6	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	-	
		設置合計数[個]						11	9	0	2	-	14	7	0	7	-	0	0	0	0	-
	B安全補機室	1	3		2.5	60.7	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		2	3		2.5	23.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		3	3		2.5	8.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		4	3		5.6	52.7	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	-	
		5	3		5.6	47.7	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	-	
		6	3		5.6	50.9	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	-	
		7	3		5.7	120	2	1	0	1	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	-	
		8	3		2.5	32	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		9	3		2.5	29.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		10	3		2.5	28.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
	設置合計数[個]						11	5	0	6	-	16	5	0	11	-	0	0	0	0	-	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (15/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	A安全補機室	1	3		2.5	31.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2	3		2.5	60.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	3		5.7	16.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		4	3		5.6	50.9	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	3		5.6	47.7	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—	
		6	3		5.6	52.7	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		7	3		5.7	93.5	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		8	3		2.5	33.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		9	3		2.5	29.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		10	3		2.5	32	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
			設置合計数[個]					11	5	0	6	—	15	5	0	10	—	0	0	0	0	—
	Aディーゼル発電機室	1	3		6.5	69	3	2	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2	3		7.2	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング
		3	3		7.0	199.1	4	4	0	0	C	6	3	0	3	○	0	0	0	0	—	
		4	3		3.8	51.8	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					9	7	0	2	—	12	7	0	5	—	0	0	0	0	—	
	タービン動補助給水ポンプ室	1	3		5.9	30.1	1	1	0	0	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		2	3		8.4	5.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	煙・炎感知器は□に設置
		3	3		5.9	16.4	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					3	2	0	1	—	4	1	0	3	—	1	0	0	1	—	
	湧水排水ポンプ室	1	3		5.5	30.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					1	0	0	1	—	1	0	0	1	—	0	0	0	0	—	
	B安全系冷却器室	1	3		5.9	61.4	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2	3		5.9	19.2	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	3		6.0	76.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		4	3		7.0	70.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		5	3		7.0	162.1	4	2	0	2	○	6	1	0	5	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					10	5	0	5	—	15	4	0	11	—	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (16/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	A安全系冷却器室	1	3		5.9	19.2	1	0	0	1	○	1	1	0	0	D	0	0	0	0	—	
		2	3		5.9	61.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		3	3		6.1	164.7	4	2	0	2	○	6	2	0	4	D	0	0	0	0	—	
		4	3		6.0	68.4	2	1	0	1	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	3		6.0	76.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					10	5	0	5	—	14	5	0	9	—	0	0	0	0	—	
	B電動補助給水ポンプ室	1	3		5.9	59.6	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	2	1	0	1	—	0	0	0	0	—	
	A電動補助給水ポンプ室	1	3		5.9	49.5	2	2	0	0	C	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	一部階段上部に設置
		設置合計数[個]					2	2	0	0	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—	
	通路	1	3		7.5	57.3	10	5	5	0	○	19	6	0	13	○	0	0	0	0	—	
		2	3		5.9	44.2	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		3	3		5.9	76.2	2	0	2	0	○	3	1	0	2	E	0	0	0	0	—	
		4	3		5.9	94.5	2	1	1	0	○	3	2	0	1	D	0	0	0	0	—	
		5	3		4.3	24.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		6	3		4.3	24.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		7	3		5.9	34.4	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		8																				欠番
		9-1	3		2.3	80.6	2	2	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		9-2	3		3.6	80.6	1	1	0	0	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—	
	設置合計数[個]					21	13	8	0	—	37	11	0	26	—	0	0	0	0	—		
	A充てんポンプ室	1	3		7.5	69.6	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	2	0	0	2	—	0	0	0	0	—	
	B充てんポンプ室	1	3		7.5	69.6	2	1	0	1	C	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					2	1	0	1	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—	
	テンドンギャラリー及び ボールド保修室	1	3		3.3	391.5	3	0	0	3	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	
		2-1	3		3.3	15	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2-2	3		5.9	130.9	4	1	0	3	A	9	1	0	8	B	0	0	0	0	—	
		3-1	3		2.8	142	1	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	
		3-2	3		3.0	142	4	1	0	3	A	11	1	0	10	B	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					13	4	0	10	—	30	2	0	28	—	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (17/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	1-1	3		7.8	112.3	2	0	0	2	○	6	0	0	6	E	0	0	0	0	—	
		1-2	3		7.1	112.3	2	0	0	2	○	9	0	0	9	B	0	0	0	0	—	
		2	3		5.8	52.1	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	3		2.3	4.1	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						6	1	0	5	—	18	1	0	17	—	0	0	0	0	—
	C 充てんポンプ室	1	3		5.9	45.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						1	1	0	0	—	2	1	0	1	—	0	0	0	0	—
	B 使用済燃料ピットポンプ室	1	3		5.9	105	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						2	1	0	1	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—
	A 使用済燃料ピットポンプ室	1	3		7.5	80.4	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						2	1	0	1	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—
	燃料取替用水ピットエリア	1	3		—	286.5	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
	B 安全補機室空調ファン、配管室	1	3		7.9	26.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		2	3		7.9	25.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		3																				欠番
		4	3		5.3	27.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	3		7.9	58.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						4	3	0	1	—	5	2	0	3	—	0	0	0	0	—
	制御用空気圧縮装置室	1	3		7.9	172.5	3	3	0	0	○	5	2	0	3	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						3	3	0	0	—	5	2	0	3	—	0	0	0	0	—
	原子炉トリップ遮断器盤室	1	3		5.0	23.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	D	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—
	A 安全補機室空調ファン、配管室	1	3		7.9	57.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		2	3		7.9	25.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		3	3		7.9	26.5	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		4	3		5.3	27.2	1	0	1	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						4	3	1	0	—	5	2	0	3	—	0	0	0	0	—

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (18/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	制御棒駆動装置電源室 及び通路	1	3		3.9	87.1	1	2	0	0	C	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2																				欠番	
		3	3		7.9	300.6	5	2	3	0	C	9	2	0	7	○	0	0	0	0	—		
		4																				欠番	
		5	3		4.3	46.1	1	0	0	1	○	2	1	0	1	D	0	0	0	0	—		
		6	3		5.0	146.3	2	3	0	0	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	—		
		7	3		7.9	11.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		8	3		2.5	3.2	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクトスペース	
		9	3		3.0	20.9	1	0	0	1	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		10	3		3.5	63.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		11	3		3.7	84.1	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					13	9	3	3	—	25	9	0	16	—	0	0	0	0	—		
	アニュラス空気浄化 フィルタユニット室	1	3		3.3	115	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	2	1	0	1	—	0	0	0	0	—		
	体積制御タンク及び通路	1	3		7.8	334	5	2	3	0	○	10	4	0	7	B	0	0	0	0	—	一部耐火倉庫内に設置	
		2																				欠番	
		3																				欠番	
		4	3		3.0	134.4	1	3	0	0	○	2	2	0	2	○	0	0	0	0	—	一部耐火倉庫内に設置	
		5	3		8.0	22.1	3	0	0	3	○	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	一部低天井考慮	
		6	3		4.2	8.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		7	3		7.8	39.2	1	0	0	1	I	2	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング、一部に設置	
		8	3		7.8	30.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		9	3		7.8	62.5	3	1	1	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮	
		10	3		4.2	17.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		11	3		4.2	35.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		12	3		4.2	4.6	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		13	3		4.2	338.8	7	4	2	1	○	15	4	0	11	B	0	0	0	0	—		
		14	3		4.3	11.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		15	3		7.8	22.2	1	0	1	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		16	3		7.8	22.5	1	0	1	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		17	3		7.8	203	5	3	2	1	A	11	3	0	9	B	0	0	0	0	—	一部耐火倉庫内に設置	
		18	3		7.8	14.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (19/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	体積制御タンク及び通路	19	3		3.5	46.6	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		20	3		3.0	241.1	2	4	0	0	C	4	2	0	2	○	0	0	0	0	—		
		21																				欠番	
		22	3		3.0	17.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		23																				欠番	
		24																				欠番	
		25-1	3		3.0	58.4	2	0	0	2	C	5	0	0	5	B	0	0	0	0	—		
		25-2	3		3.0	29.6	1	1	0	0	○	2	1	0	1	B	0	0	0	0	—		
		25-3	3		3.0	16	1	0	0	1	○	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
		26																				欠番	
		27	3		4.1	87.6	2	0	0	2	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—		
		28	3		4.1	39.4	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
	設置合計数[個]					45	21	10	19	—	74	19	0	58	—	2	0	0	2	—			
	ペネトレーションエリア	1-1	3		3.9	117.1	1	0	0	1	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		1-2	3		4.2	117.1	2	1	1	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		2-1	3		3.9	97.2	2	0	0	2	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		2-2	3		4.2	97.2	2	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		3-1	3		3.9	36.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		3-2	3		4.2	36.3	1	0	1	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		4	3		7.9	26.5	1	0	1	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		5	3		7.9	26.5	1	1	0	0	C	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		6-1	3		3.9	54.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		6-2	3		4.2	54.2	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		7-1	3		3.9	191.5	2	0	0	2	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		7-2	3		4.2	191.5	3	2	1	0	○	7	1	0	6	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		8-1	3		2.9	32.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		8-2	3		5.2	32.9	1	0	1	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
	9	3		4.1	75.2	2	1	0	1	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—			
	10	3		2.8	8	1	0	0	1	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア		
	11	3		5.7	156.8	3	2	0	1	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	—			
	12																				欠番		
	13																				欠番		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (21/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	復水ピットエリア	1	3		-	307.9	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J		
		設置合計数[個]					0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-		
	主蒸気・主給水管室	1-1	3		6.8	142.5	2	0	0	2	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
		1-2	3		3.0	67.6	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-		
		1-3	3		7.9	172.3	3	2	0	1	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
		1-4	3		4.7	168.5	6	5	0	1	A	16	12	0	4	○	0	0	0	0	-		
		2	3		6.5	161	3	1	0	2	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	-	グレーチング	
		3																				欠番	
		4	3		3.2	28.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		5	3		1.7	13.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		6	3		1.9	18.6	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		7	3		1.9	9	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
	8	3		1.9	18.6	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋		
	9	3		1.9	9	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋		
	10	3		1.7	13.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋		
		設置合計数[個]					16	8	0	8	-	36	14	0	22	-	0	0	0	0	-		
	格納容器給気ファン室及び通路	1	3		6.5	43.7	1	1	0	0	C	3	2	1	0	○	0	0	0	0	-		
		2	3		3.8	68.3	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		3	3		6.5	121.2	2	1	0	1	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	-		
		4	3		6.5	226	4	1	0	3	○	7	1	0	6	○	0	0	0	0	-		
		5	3		6.5	63.1	1	0	0	1	○	7	0	0	7	○	0	0	0	0	-		
		6	3		3.8	16.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		7	3		2.5	29.1	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	パーテーション内に一部設置	
		8	3		6.5	148.2	2	2	0	0	C	6	1	0	5	○	0	0	0	0	-		
		9	3		3.6	7.8	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		10	3		2.2	112.2	1	0	0	1	○	12	2	0	10	○	0	0	0	0	-		
		11	3		3.5	68.9	1	0	0	1	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-		
		12	3		2.2	44.3	1	0	0	1	○	4	0	0	4	B	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					18	6	0	12	-	49	7	1	41	-	0	0	0	0	-		
	A 中央制御室外原子炉停止盤室	1	3		3.8	20.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	-	1	1	0	0	-	0	0	0	0	-		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (22/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	B 中央制御室外原子炉 停止盤室	1	3		3.8	21.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	○		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	○		
		1	3		6.5	24	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		2																				欠番	
		3																				欠番	
		4																				欠番	
		5																				欠番	
		6																				欠番	
		7	3		6.5	38.4	4	0	0	1	I	4	0	0	2	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		8	3		6.5	23.3	3	0	0	1	I	3	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		9	3		6.4	32.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		10	3		6.4	23.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		11	3		6.4	10	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		12																				欠番	
		13																				欠番	
		14																				欠番	
		15																				欠番	
	通路	16																				欠番	
		17																				欠番	
		18																				欠番	
		19	3		2.2	115	1	0	0	1	I	2	0	0	2	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		20	3		6.5	537.3	8	4	0	4	C	19	4	0	15	○	0	0	0	0	○		
		21	3		3.0	37.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	○		
		22																				欠番	
		23																				欠番	
		24	3		4.4	121.2	2	4	0	1	○	4	3	0	4	○	0	0	0	0	○	一部耐火倉庫内に設置	
		25	3		6.4	361.9	10	3	0	7	A,C	24	1	0	23	B	0	0	0	0	○	一部耐火倉庫内に設置	
		26																				欠番	
		27	3		6.5	37.8	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○		
		28																				欠番	
		29	3		3.2	49.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		設置合計数[個]					35	13	0	20	○	64	11	0	53	○	0	0	0	0	○		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (23/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	B ディーゼル発電機給 気ファン室	1	3		6.1	27.6	2	0	0	2	A	3	0	0	3	B	0	0	0	0	—		
		2	3		6.1	18.4	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクト	
		3	3		6.1	52.4	1	1	0	0	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	一部上屋	
		設置合計数[個]						3	1	0	2	—	5	0	0	5	—	0	0	0	0	—	
	格納容器給気ユニット室	1	3		5.6	8.8	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		2	3		5.6	26.9	2	0	0	2	○	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
		3	3		5.6	8.8	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		4	3		5.6	26.9	2	0	0	2	○	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
		5	3		4.8	19.1	1	0	0	1	A	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						5	0	0	5	—	6	0	0	6	—	0	0	0	0	—	
	A ディーゼル発電機給 気ファン室	1																				欠番	
		2	3		6.0	7	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクト	
		3	3		6.0	20.9	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		4	3		6.1	17.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクト	
		5	3		6.1	61.7	1	1	0	0	A	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	一部上屋	
		6	3		6.1	14.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						2	1	0	1	—	4	0	0	4	—	0	0	0	0	—	
	燃料検査室及び通路	1-1	3		13.9	42.1	1	0	0	1	A	0	0	0	0	—	2	0	0	2	○		
		1-2	3		9.1	87.7	2	2	0	0	○	0	2	0	0	—	2	0	0	2	○		
		1-3	3		8.9	272.3	6	1	0	5	A	0	0	0	0	—	10	0	0	10	○		
		2-1	3		4.5	64.3	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		2-2	3		3.0	44.7	1	1	0	0	C	4	0	0	4	B	0	0	0	0	—		
		2-3	3		14.0	288.1	22	1	0	21	○	0	0	0	0	—	6	0	0	6	○		
		3	3		5.1	57.9	2	1	0	1	A	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—		
		4	3		9.1	22.7	1	0	0	1	C	0	0	0	0	—	1	0	0	1	○		
		5-1	3		6.0	38.6	1	0	0	1	A	0	0	0	0	—	1	0	0	1	○		
		5-2	3		2.4	38.6	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		6																					欠番
		7-1	3		4.8	80.2	3	0	0	3	○	6	0	0	6	B	0	0	0	0	—		
		7-2	3		5.4	80.2	3	2	0	1	C	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						44	9	0	35	—	23	3	0	22	—	22	0	0	22	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (24/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	キャスク仮置場	1	3		18.2	183.6	4	0	0	4	A	0	2	0	0	-	6	0	0	6	○		
		設置合計数[個]					4	0	0	4	-	0	2	0	0	-	6	0	0	6	-		
	アニュラスエリア	1-1	3		3.4	116	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	3	0	0	3	○		
		1-2	3		4.5	116	2	2	0	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					4	2	0	2	-	4	1	0	3	-	3	0	0	3	-		
	原子炉補機冷却水サー ジタンク室	1-1	3		8.5	189	5	2	0	3	C	0	2	0	0	-	4	0	0	4	○		
		1-2	3		2.0	25.1	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					6	3	0	3	-	1	2	0	1	-	4	0	0	4	-		
	3A階段	1	3		-	-	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	-		
			設置合計数[個]					2	2	0	0	-	4	0	0	4	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3B階段	1	3		-	-	3	2	0	1	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	-		
			設置合計数[個]					3	2	0	1	-	5	0	0	5	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3C階段	1	3		-	-	3	3	0	0	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	-		
			設置合計数[個]					3	3	0	0	-	6	0	0	6	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3D階段	1	3		-	-	2	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	-		
			設置合計数[個]					2	2	0	0	-	3	0	0	3	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3E階段	1	3		-	-	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	-		
			設置合計数[個]					2	2	0	0	-	4	0	0	4	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3P階段	1	3		-	-	3	0	0	3	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	-		
			設置合計数[個]					3	0	0	3	-	5	0	0	5	-	0	0	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3CD-PCCV	1	3		-	-	3	1	0	2	○	4	1	0	3	○	8	0	0	8	○		
			設置合計数[個]					3	1	0	2	-	4	1	0	3	-	8	0	0	8	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	3AB-PCCV	1	3		-	-	3	1	0	2	○	5	1	0	4	○	8	0	0	8	○		
			設置合計数[個]					3	1	0	2	-	5	1	0	4	-	8	0	0	8	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
	原子炉格納容器	1																				欠番	
		2	4		5.0	81.4	3	0	0	1	I	4	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、一部 [ ] 設置	
		3																					欠番
		4																					欠番
		5-1	4		3.5	632	0	0	0	0	I	11	0	0	15	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		5-2	4		3.5	695	12	1	0	11	C	15	1	0	14	○	0	0	0	0	-		
		5-3	4		7.5	23.5	0	0	0	0	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
	5-4	4		2.5	351	0	0	0	0	I	6	0	0	13	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (25/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	原子炉格納容器	6-1	4		4.6	1158.8	14	12	0	2	A,C	60	4	0	56	B,D	0	0	0	0	-	グレーチング	
		6-2	4		2.4	708.4	0	0	0	0	I	12	0	0	12	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		6-3	4		3.4	23.5	0	0	0	0	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		7-1	4		7.0	696.6	30	10	0	20	A,C	62	7	0	55	B,D	0	0	0	0	I	グレーチング	
		7-2	4		2.5	580	8	0	0	8	I	10	12	0	0	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		7-3	4		5.2	23.5	1	0	0	1	C,I	1	0	0	1	D,I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		7-4	4		4.2	26.5	1	0	0	1	I	1	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		7-5	4		7.0	5.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		8-1	4		2.5	192.8	0	0	0	0	I	5	0	0	9	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		8-2	4		5.0	966.1	15	5	0	10	A,C	24	5	0	19	○	10	0	0	10	○		
		8-3	4		2.5	277	4	0	0	4	I	5	0	0	9	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア、グレーチング	
		8-4	4		2.5	4.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		8-5	4		2.5	4.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		9-1	4		2.6	25	1	0	0	2	I	1	2	0	0	I	10	0	0	10	○	高放射線エリア	
		9-2	4		5.1	307.7	8	0	0	8	A,C	24	0	0	24	B	12	0	0	12	○	グレーチング	
		設置合計数[個]					100	28	0	71	-	246	31	0	234	-	32	0	0	32	-		
	放管関係資材倉庫	1	4		2.5	147.3	1	1	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	-		
		2	4		2.5	147.3	1	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					2	3	0	0	-	6	0	0	6	-	0	0	0	0	-		
	海水管室	1	4		2.4	292	2	0	0	2	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					2	0	0	2	-	5	0	0	5	-	0	0	0	0	-		
	B デーゼル発電機室	1	4		6.5	69	3	2	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	-		
		2	4		7.2	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
		3	4		3.8	59.6	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	-		
		4	4		7.0	201.2	4	4	0	0	○	6	3	0	3	○	0	0	0	0	-		
		5	4		5.2	18.6	2	2	0	0	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-		
		設置合計数[個]					11	9	0	2	-	13	7	0	7	-	0	0	0	0	-		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (26/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
B 安全補機室	1	4	2.5	60.7	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	2	4	2.5	26.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	3	4	5.6	52.7	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○				
	4	4	5.6	47.7	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	○				
	5	4	5.6	50.9	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○				
	6	4	5.7	117.1	2	1	0	1	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	○				
	7	4	2.5	8.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	8	4	2.5	32	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	9	4	2.5	29.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	10	4	2.5	26.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	設置合計数[個]					11	5	0	6	○	16	5	0	11	○	0	0	0	0	○			
A 安全補機室	1	4	2.5	31.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	2	4	2.5	60.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	3	4	5.7	16.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	4	4	5.6	50.9	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○				
	5	4	5.6	47.7	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	○				
	6	4	5.6	52.7	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○				
	7	4	5.7	93.5	2	1	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	○				
	8	4	2.5	33.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	9	4	2.5	29.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	10	4	2.5	32	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	設置合計数[個]					11	5	0	6	○	15	6	0	9	○	0	0	0	0	○			
A ディーゼル発電機室	1	4	6.5	69	3	2	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	○				
	2	4	7.2	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○				
	3	4	7.0	199.1	4	4	0	0	○	6	3	0	3	○	0	0	0	0	○				
	4	4	3.8	51.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	○				
設置合計数[個]					9	7	0	2	○	11	7	0	5	○	0	0	0	0	○				
タービン動補助給水ポンプ室	1	4	5.9	30.1	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	○				
	2	4	8.4	5.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	煙・炎感知器は□に設置			
	3	4	5.9	16.4	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	○				
設置合計数[個]					3	2	0	1	○	4	1	0	3	○	1	0	0	1	○				

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (27/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	湧水排水ポンプ室	1	4		5.5	30.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		設置合計数[個]					1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
	B 安全系冷却器室	1	4		5.9	61.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	○		
		2	4		5.9	19.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		3	4		7.0	170.1	4	2	0	2	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	○		
		4	4		6.0	76.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	○		
		5	4		7.0	70.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	○		
			設置合計数[個]					10	5	0	5	○	15	4	0	11	○	0	0	0	0	○	
	A 安全系冷却器室	1	4																			欠番	
		2	4		5.9	19.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		3	4		5.9	61.4	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○		
		4	4		6.1	165.9	4	2	0	2	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	○		
		5	4		6.0	68.4	2	1	0	1	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○		
		6	4		6.0	76.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	○		
			設置合計数[個]					10	5	0	5	○	14	5	0	9	○	0	0	0	0	○	
	B 電動補助給水ポンプ室	1	4		5.9	59.6	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	○		
	A 電動補助給水ポンプ室	1	4		5.9	49.5	2	2	0	0	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	○	一部階段上部に設置	
		設置合計数[個]					2	2	0	0	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	○		
	テンドンギャラリ及びコールド保守室(4号機)	1	4		3.3	398.9	3	0	0	3	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	○		
		2-1	4		3.3	15	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		2-2	4		5.9	172.5	3	1	0	2	○	8	2	0	6	○	0	0	0	0	○		
			設置合計数[個]					7	1	0	6	○	15	2	0	13	○	0	0	0	0	○	
	通路	1	4		7.5	510.6	9	5	4	0	○	16	5	0	11	○	0	0	0	0	○		
		2	4																			欠番	
		3	4		5.9	34.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	○		
		4	4		4.3	24.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		5	4		4.3	24.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	○		
		6	4		5.8	62.2	1	0	1	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	○		
		7	4																			欠番	
			設置合計数[個]					13	8	5	0	○	21	6	0	15	○	0	0	0	0	○	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (28/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	A 充てんポンプ室	1	4		7.5	69.6	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	2	1	0	1	—	0	0	0	0	—		
	B 充てんポンプ室	1	4		7.5	69.6	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					2	1	0	1	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—		
	C 充てんポンプ室	1	4		5.9	45.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	2	1	0	1	—	0	0	0	0	—		
	ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	1-1	4		7.8	112.3	2	0	0	2	○	6	0	0	6	E	0	0	0	0	—		
		1-2	4		7.1	112.3	2	0	0	2	○	9	0	0	9	B	0	0	0	0	—		
		2	4		5.8	52.1	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		3	4		2.3	4.1	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					6	1	0	5	—	18	0	0	18	—	0	0	0	0	—	
	ホット電気室及び通路	1	4		5.9	159.5	4	2	0	2	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	—		
		2	4		5.9	55.5	1	2	0	0	○	2	1	0	2	○	0	0	0	0	—	一部耐火倉庫内に設置	
			設置合計数[個]					5	4	0	2	—	8	3	0	6	—	0	0	0	0	—	
	放管資機材倉庫	1	4		5.8	135	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		2	4		2.9	55	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					3	3	0	0	—	5	0	0	5	—	0	0	0	0	—	
	B使用済燃料ピットポンプ室	1	4		5.9	105	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					2	1	0	1	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—	
	A使用済燃料ピットポンプ室	1	4		7.5	80.4	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					2	1	0	1	—	3	1	0	2	—	0	0	0	0	—	
	ホット計器室	1	4		2.7	63.3	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		2	4		3.1	63.3	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					2	2	0	0	—	2	4	0	0	—	0	0	0	0	—	
	燃料取替用水ピットエリア	1	4		—	208.1	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J		
			設置合計数[個]					0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	
	制御用空気圧縮装置室	1	4		7.9	172.5	3	3	0	0	○	5	2	0	3	○	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					3	3	0	0	—	5	2	0	3	—	0	0	0	0	—	
	原子炉トリップ遮断器盤室	1	4		5.0	23.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	D	0	0	0	0	—		
			設置合計数[個]					1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (29/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	B 安全補機室空調ファン, 配管室	1	4		7.9	26.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		2	4		7.9	25.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		3																				欠番
		4	4		5.3	27.2	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	4		7.9	58.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						4	3	0	1	—	5	2	0	3	—	0	0	0	0	—
	A 安全補機室空調ファン, 配管室	1	4		7.9	57.4	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2	4		7.9	25.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		3	4		7.9	26.5	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		4	4		5.3	27.2	1	0	1	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						4	3	1	0	—	5	3	0	2	—	0	0	0	0	—
	制御棒駆動装置電源室及び通路	1	4		3.9	87.1	1	2	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2																				欠番
		3	4		7.9	290.6	4	2	2	0	○	9	2	0	7	○	0	0	0	0	—	
		4																				欠番
		5	4		4.3	45.3	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		6	4		5.0	146.3	2	3	0	0	C	6	2	0	4	D	0	0	0	0	—	
		7	4		7.9	11.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		8	4		2.5	3.2	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクトスペース
		9	4		6.5	53.3	1	0	0	1	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		10	4		3.0	20.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		11	4		2.5	105.7	3	0	2	1	A,C	8	0	0	8	○	0	0	0	0	—	
		12	4		3.6	111.2	1	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						15	10	4	4	—	33	7	0	26	—	0	0	0	0	—
	A D/G吸気消音器室	1	4		3.9	18.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]						1	0	0	1	—	1	0	0	1	—	0	0	0	0	—

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。





第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (32/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	体積制御タンク及び通路	14	4		4.3	11.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		15	4		7.8	52.9	1	1	0	0	C	2	0	0	2	D	0	0	0	0	—	
		16	4		7.8	203	7	4	2	1	A,C	12	3	0	9	B	0	0	0	0	—	一部耐火倉庫内に設置
		17	4		7.8	14.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		18	4		3.5	107.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		19																				欠番
		20	4		3.0	240	2	4	0	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—	
		21	4		3.0	17.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		22																				欠番
		23																				欠番
		24-1	4		3.0	84.7	2	0	0	2	○	8	0	0	8	B,D	0	0	0	0	—	
		24-2	4		3.0	19.3	1	1	0	0	○	2	1	0	1	B	0	0	0	0	—	
		25																				欠番
		26	4		4.1	39.4	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					43	28	8	13	—	78	25	0	57	—	2	0	0	2	—	
	B D/G吸気消音器室	1	4		3.6	19.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					1	0	0	1	—	1	0	0	1	—	0	0	0	0	—	
	MGセット室	1	4		4.2	64.2	1	2	0	0	○	2	3	0	0	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					1	2	0	0	—	2	3	0	0	—	0	0	0	0	—	
	燃料取替用水ポンプ横倉庫	1	4		4.3	22.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—	
	ケーブルトレイスペース	1	4		2.5	176	4	2	0	2	A	9	1	0	8	○	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					4	2	0	2	—	9	1	0	8	—	0	0	0	0	—	
	ケーブルエリア	1	4		3.7	89.1	2	1	0	1	A	6	1	0	5	B	0	0	0	0	—	
		設置合計数[個]					2	1	0	1	—	6	1	0	5	—	0	0	0	0	—	
	ケーブルトレイスペース	1	4		6.4	51.6	1	1	0	0	○	2	1	0	1	E	0	0	0	0	—	
		2	4		6.4	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画1に含む
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	2	1	0	1	—	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (33/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	主蒸気・主給水管室	1-1	4		6.8	142.5	2	0	0	2	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		1-2	4		3.0	67.6	1	0	0	1	○	2	0	0	2	D	0	0	0	0	—		
		1-3	4		7.9	172.3	3	2	0	1	○	6	2	0	4	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		1-4	4		4.7	168.5	6	5	0	1	A	16	12	0	4	○	0	0	0	0	—		
		2	4		6.5	161	3	1	0	2	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		3																					欠番
		4	4		3.2	28.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		5	4		1.7	13.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		6	4		1.9	18.6	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		7	4		1.9	9	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
	8	4		1.9	18.6	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋		
	9	4		1.9	9	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋		
	10	4		1.7	13.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋		
		設置合計数[個]					16	8	0	8	—	36	14	0	22	—	0	0	0	0	—		
	復水ピットエリア	1	4		—	307.9	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J	0	0	0	0	J		
		設置合計数[個]					0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—		
	格納容器給気ファン室及び通路	1	4		6.5	43.7	1	1	0	0	○	3	2	1	0	○	0	0	0	0	—		
		2	4		3.8	44.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		3	4		3.8	68.3	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		4	4		6.5	116.5	2	1	0	1	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		5	4		6.5	226	4	1	0	3	○	7	0	0	7	○	0	0	0	0	—		
		6	4		6.5	63.1	1	0	0	1	○	7	0	0	7	○	0	0	0	0	—		
		7	4		3.8	16.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		8	4		3.8	29.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		9																					欠番
		10	4		2.5	7.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		11	4		6.5	168.6	3	2	0	1	C	5	2	0	3	D	0	0	0	0	—		
		12	4		2.2	113.1	1	0	0	1	○	12	2	0	10	○	0	0	0	0	—		
		13	4		3.5	68.9	1	0	0	1	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		14	4		2.2	44.3	1	0	0	1	○	4	1	0	3	B	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					19	6	0	13	—	48	8	1	39	—	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (34/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
		1	4		6.5	24	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		2																				欠番	
		3																				欠番	
		4																				欠番	
		5																				欠番	
		6																				欠番	
		7	4		6.5	38.4	4	0	0	1	I	4	0	0	2	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		8	4		6.5	23.3	3	0	0	1	I	3	0	0	1	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		9	4		6.4	32.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		10	4		6.4	23.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		11	4		6.4	10	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		12																				欠番	
		13																				欠番	
		14																				欠番	
	通路	15																				欠番	
		16																				欠番	
		17																				欠番	
		18																				欠番	
		19	4		2.2	115	1	0	0	1	I	2	0	0	2	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		20	4		6.5	537.3	8	2	0	6	C	19	3	0	16	○	0	0	0	0	—		
		21	4		3.0	37.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		22																				欠番	
		23																				欠番	
		24	4		4.4	121.2	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		25	4		6.4	361.9	9	1	0	8	A	23	1	0	22	B	0	0	0	0	—		
		26																				欠番	
		27	4		6.5	37.8	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		28	4		3.2	49.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						34	7	0	22	—	63	7	0	53	—	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (35/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	A 中央制御室外原子炉 停止盤室	1	4		3.8	22.1	1	1	0	0	C	1	1	0	0	○	0	0	0	0	○		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—		
	B 中央制御室外原子炉 停止盤室	1	4		3.8	21.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					1	1	0	0	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	—		
	B ディーゼル発電機給 気ファン室	1	4		6.1	27.6	2	0	0	2	A	3	0	0	3	B	0	0	0	0	—		
		2	4		6.1	18.4	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクト	
		3	4		6.1	52.4	1	1	0	0	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	一部上屋	
		設置合計数[個]					3	1	0	2	—	5	0	0	5	—	0	0	0	0	—		
	格納容器給気ユニット室	1	4		5.6	8.8	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		2	4		5.6	26.9	2	0	0	2	○	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
		3	4		5.6	8.8	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		4	4		5.6	26.9	2	0	0	2	○	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
		5	4		4.8	19.1	1	0	0	1	A	2	0	0	2	B	0	0	0	0	—		
	設置合計数[個]					5	0	0	5	—	6	0	0	6	—	0	0	0	0	—			
	A ディーゼル発電機給 気ファン室	1																			欠番		
		2	4		6.0	7	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクト	
		3	4		6.0	20.9	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	上屋	
		4	4		6.1	17.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	吸排気ダクト	
		5	4		6.1	61.7	2	1	0	1	A	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—		
		6	4		6.1	14.3	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
	設置合計数[個]					3	1	0	2	—	4	0	0	4	—	0	0	0	0	—			
	燃料検査室及び通路	1-1	4		13.9	42.1	1	0	0	1	A,C	0	0	0	0	—	2	0	0	2	○		
		1-2	4		9.1	87.7	2	2	0	0	○	0	2	0	0	—	2	0	0	2	○		
		1-3	4		8.9	272.3	5	1	0	4	A,C	0	1	0	0	—	10	0	0	10	○		
		2-1	4		4.5	64.3	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		2-2	4		3.0	44.7	1	1	0	0	○	4	0	0	4	B	0	0	0	0	—		
		2-3	4		14.0	288.1	22	1	0	21	A,C	0	0	0	0	—	6	0	0	6	○		
		3	4		5.1	57.9	2	1	0	1	A,C	3	1	0	2	B	0	0	0	0	—		
		4	4		9.1	22.7	1	0	0	1	C	0	0	0	0	—	1	0	0	1	○		
		5-1	4		6.0	38.6	1	0	0	1	A,C	0	0	0	0	—	1	0	0	1	○		
		5-2	4		2.4	38.6	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		6																				欠番	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (36/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	燃料検査室及び通路	7-1	4		4.8	80.2	3	0	0	3	○	6	0	0	6	B	0	0	0	0	—		
		7-2	4		5.4	80.2	3	2	0	1	C	6	0	0	6	D	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					43	9	0	34	—	22	4	0	21	—	22	0	0	22	—		
	キャスク仮置場	1	4		18.2	183.6	4	0	0	4	A	0	2	0	0	—	6	0	0	6	○		
		設置合計数[個]					4	0	0	4	—	0	2	0	0	—	6	0	0	6	—		
	アニュラスエリア	1-1	4		3.4	116	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	3	0	0	3	○		
		1-2	4		4.5	116	2	2	0	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					4	2	0	2	—	4	1	0	3	—	3	0	0	3	—		
	原子炉補機冷却水サー ジタンク室	1-1	4		8.5	189	5	2	0	3	C	0	2	0	0	—	4	0	0	4	○		
		1-2	4		2.0	25.1	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					6	3	0	3	—	1	2	0	1	—	4	0	0	4	—		
	4A階段	1	4		—	—	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					2	2	0	0	—	4	0	0	4	—	0	0	0	0	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4B階段	1	4		—	—	3	2	0	1	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					3	2	0	1	—	5	0	0	5	—	0	0	0	0	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4C階段	1	4		—	—	3	3	0	0	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					3	3	0	0	—	6	0	0	6	—	0	0	0	0	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4D階段	1	4		—	—	2	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					2	2	0	0	—	3	0	0	3	—	0	0	0	0	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4E階段	1	4		—	—	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					2	2	0	0	—	4	0	0	4	—	0	0	0	0	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4P階段	1	4		—	—	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					1	0	0	1	—	2	0	0	2	—	0	0	0	0	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4CD-PCCV	1	4		—	—	3	1	0	2	○	4	1	0	3	○	8	0	0	8	○		
		設置合計数[個]					3	1	0	2	—	4	1	0	3	—	8	0	0	8	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	4AB-PCCV	1	4		—	—	3	1	0	2	○	5	1	0	4	○	8	0	0	8	○		
		設置合計数[個]					3	1	0	2	—	5	1	0	4	—	8	0	0	8	—	要目表に記載していない火災区域(区画)	
	A蒸気発生器保管庫	1	共用		8.5	1000.8	14	20	0	0	C	0	16	0	0	—	74	0	0	74	○		
		2	共用		2.7	28	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]					15	21	0	0	—	1	16	0	1	—	74	0	0	74	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (37/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	B蒸気発生器保管庫	1	共用		8.3	968.9	13	20	0	0	○	0	16	0	0	-	64	0	0	64	○		
		2	共用		2.7	29.6	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-		
	設置合計数[個]						14	21	0	0	-	1	16	0	1	-	64	0	0	64	-		
	海水ポンプ室	-	共用		-	-	0	0	0	0	-	0	0	0	6	-	0	12	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	0	0	0	6	-	0	12	0	0	-	
	海水管トンネルエリア	-	共用		-	-	160	109	0	51	○	133	70	0	63	○	0	0	0	0	-	屋外エリア、ケーブル敷設エリアには熱感知器の代わりに光ファイバーを設置	
		設置合計数[個]						160	109	0	51	-	133	70	0	63	-	0	0	0	0	-	
	3号A・DG燃料油貯蔵タンク	1	3		-	80.8	0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	
	3号B・DG燃料油貯蔵タンク	1	3		-	80.8	0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	
	重油タンク3A	1	共用		-	87.6	0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	
	重油タンク3B	1	共用		-	87.6	0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	
	4号A・DG燃料油貯蔵タンク	1	4		-	80.8	0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	
	4号B・DG燃料油貯蔵タンク	1	4		-	80.8	0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	2	2	0	0	-	0	1	0	0	-	
	重油タンク4A	1	共用		-	87.6	0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	
	重油タンク4B	1	共用		-	87.6	0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	1	1	0	0	-	0	1	0	0	-	
	空冷式非常用発電装置 エリア	-	共用		-	-	0	0	0	0	-	0	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア	
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	0	1	0	0	-	0	1	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
		-	共用		-	-	-	0	0	0	0	-	0	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	0	1	0	0	-	0	1	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)
		-	共用		-	-	-	0	0	0	0	-	0	1	0	0	-	0	1	0	0	-	屋外エリア
		設置合計数[個]						0	0	0	0	-	0	1	0	0	-	0	1	0	0	-	要目表に記載していない火災区域(区画)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第2-1-1表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数 (38/38)

火災区域 (区画) 番号	火災区域(区画)名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m <sup>2</sup> ]	感知器台数																備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
[ ]	A-廃棄物庫	1	共用		7.1	849.5	73	70	0	3	○	140	0	0	140	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		7.1	93.4	3	3	0	0	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						76	73	0	3	—	145	0	0	145	—	0	0	0	0	—	
[ ]	B-廃棄物庫	1	共用		7.0	570	12	0	0	1	I	24	24	0	0	I	0	0	0	0	I	高放射線エリア	
		2	共用		7.0	125.6	4	2	0	2	A	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						16	2	0	3	—	30	24	0	6	—	0	0	0	0	—	
[ ]	C-廃棄物庫	1	共用		5.2	1328.2	29	29	0	0	○	58	0	0	58	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		5.2	515.3	12	12	0	0	C	24	0	0	24	D	0	0	0	0	—		
		3																				欠番	
		4	共用		5.2	31.8	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		5	共用		5.2	6.9	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		6	共用		5.2	1276.5	29	29	0	0	C	59	0	0	59	D	0	0	0	0	—		
		7	共用		5.2	21.9	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		8																				欠番	
		9	共用		5.2	525.8	12	12	0	0	C	24	0	0	24	D	0	0	0	0	—		
設置合計数[個]						85	85	0	0	—	169	0	0	169	—	0	0	0	0	—			
[ ]	緊急時対策所	1	共用		4.1	66.7	1	3	0	0	○	3	3	0	0	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		4.1	40.1	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		4.1	44	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		4	共用		4.1	43	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		5	共用		4.1	63.6	1	5	0	0	○	3	5	0	0	○	0	0	0	0	—		
		6	共用		4.1	17.9	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		7	共用		4.1	26.3	1	2	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		8	共用		7.9	17.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		9	共用		3.6	18.1	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		10	共用		7.9	17.7	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
		11	共用		3.6	355.5	3	7	0	0	○	6	18	0	0	E	0	0	0	0	—		
		設置合計数[個]						13	27	0	0	—	23	38	0	0	—	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

空調ダクトエリア ( ) ( ) 感知区画③の現場状況について

「 ( ) 空調ダクトエリアの感知区画③」および「 ( ) 空調ダクトエリア-2の感知区画③」については、凡例 H「主要構造物を耐火構造とした天井裏の部分については感知器を設置しない。(消防法施行令 第 21 条第 2 項三)」に基づき感知器を設置しないとしている。当該エリアは中央制御室横通路の天井裏であり、現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面を図 1 に、また、当該エリアの平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

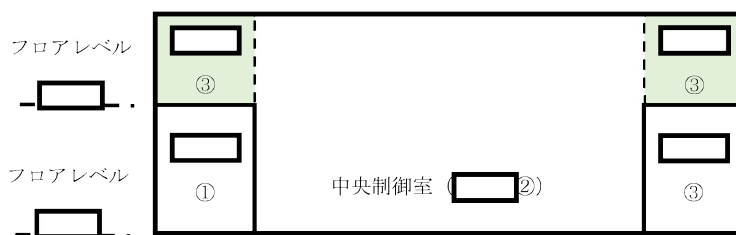
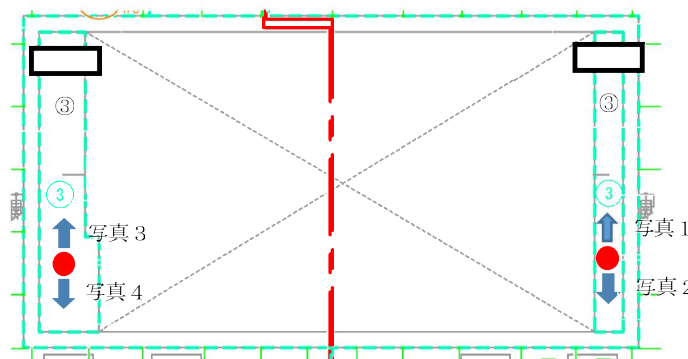


図 1 配置断面



<凡例>

- : 写真撮影場所
- ↑ : 写真撮影方向

図 2 平面図

1. ( ) 空調ダクトエリアの感知区画③

中央制御室横通路の天井裏で主要構造物は耐火構造である金属躯体、コンクリートである。



写真 1



写真 2

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

2.  空調ダクトエリア-2 の感知区画③

中央制御室横通路の天井裏で主要構造物は耐火構造である金属躯体、コンクリートである。



写真 3

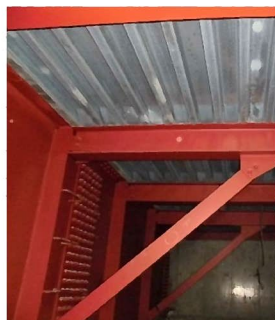


写真 4

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

廃液貯蔵タンク室 [ ] の感知区画①、②の現場状況について

[ ] 廃液貯蔵タンク室の感知区画①」および [ ] 廃液貯蔵タンク室の感知区画②」については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面を図 1 に、また、当該エリア及び当該エリア上部階の平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

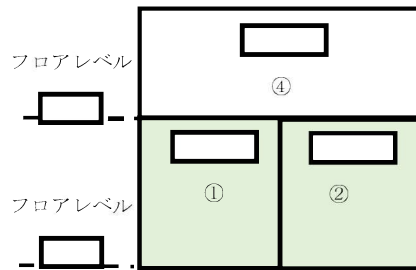


図 1 配置断面

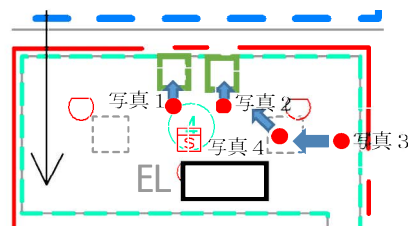


図 2 [ ] ④平面図

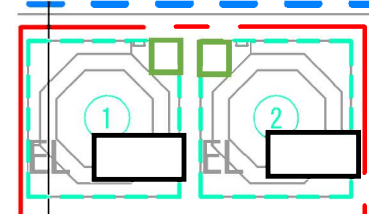


図 3 [ ] ①、[ ] ②平面図

<凡例>

- : 写真撮影場所
- ↑ : 写真撮影方向
- : アクセスルート  
(コンクリート蓋部)

3. [ ] の感知区画①、②のアクセスルートについて

[ ] の感知区画①、②のアクセスルートは、上部階の [ ] の感知区画④のコンクリート蓋部から下に降りるが、現状当該コンクリート蓋上部に、ドラム缶輸送用レールがあり、当該部屋への立入は困難な状況となっている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1



写真2



写真3



写真4

4. の感知区画①、②内の機器について  
の感知区画①、②には、使用済樹脂貯蔵タンクが設置されており、金属製のタンク内に使用済樹脂が保管されている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



炉内計装配管室 [ ] の感知区画②の現場状況について

[ ] 炉内計装配管室の感知区画②については、凡例I「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面図を図1に、また、当該エリア及び当該エリアの隣接エリア平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図2に示す。

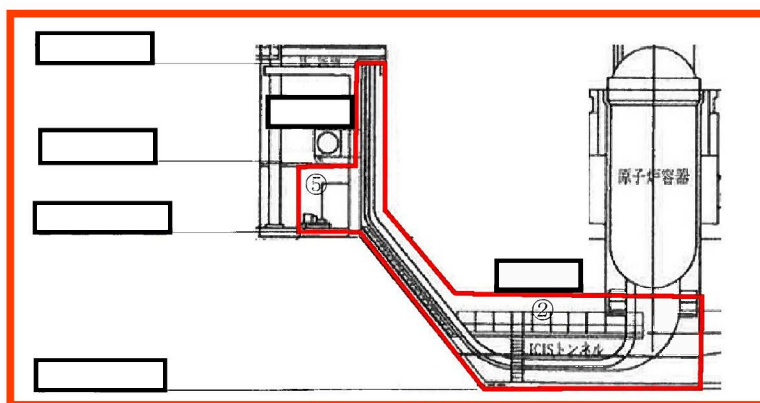


図1 配置断面

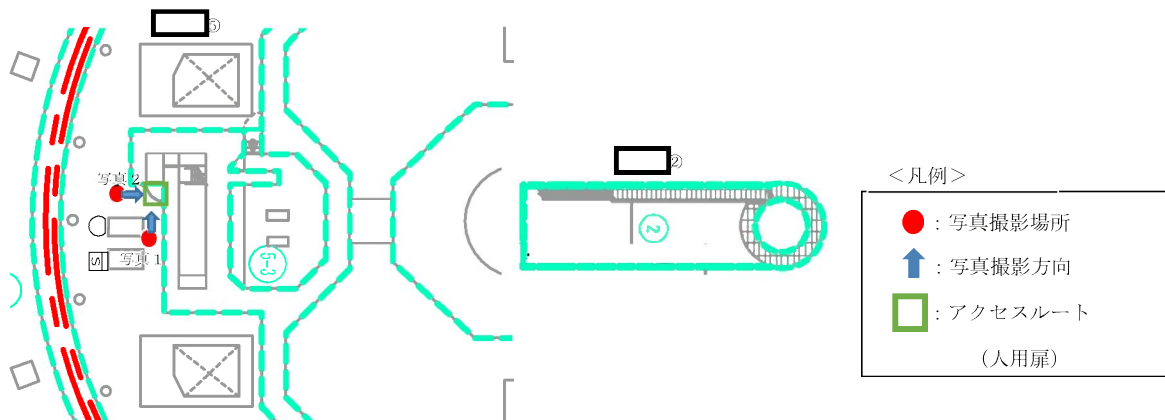


図2 [ ]⑤、[ ]②平面図

1. [ ] の感知区画②のアクセスルートについて  
 [ ] の感知区画②のアクセスルートは、隣接エリアの [ ] の感知区画⑤の人用扉から入室するが、プラント運転中及びシングルチューブ引抜き時は高放射線エリアとなっており、当該部屋への立ち入りは困難な状況となっている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1



写真2

2.  の感知区画②内の機器について  
 の感知区画②には、炉内計測用のシンプルチューブが金属製の配管内に布設されている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

体積制御タンク室 [ ] の感知区画⑦現場状況について

[ ] 体積制御タンク室の感知区画⑦については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面図を図 1 に、また、当該エリア及び当該エリアの隣接エリア平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

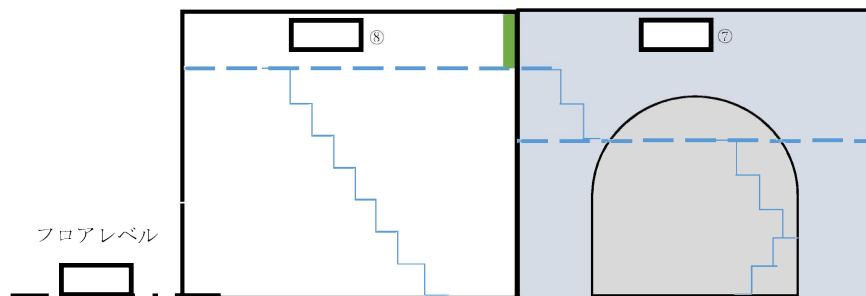


図 1 配置断面

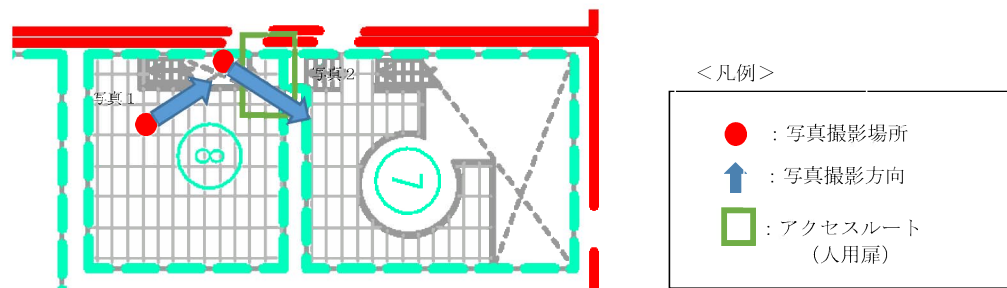


図 2 [ ] ⑦、[ ] ⑧の平面図

1. [ ] の感知区画⑦のアクセスルートについて  
[ ] の感知区画⑦のアクセスルートは、隣接エリアの [ ] の感知区画⑧の人間用扉から入室するが、高線量エリアであり、施錠管理されていることから、体積制御タンク室内への立ち入りは困難な状況となっている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1



写真2

2. の感知区画⑦内の機器について  
の感知区画⑦には、金属製の体積制御タンクが設置されている。

以 上

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

燃料移送管室 [ ] の感知区画⑩現場状況について

[ ]燃料移送管室の感知区画⑩については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面図を図 1 に、また、当該エリア及び当該エリアの隣接エリア平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

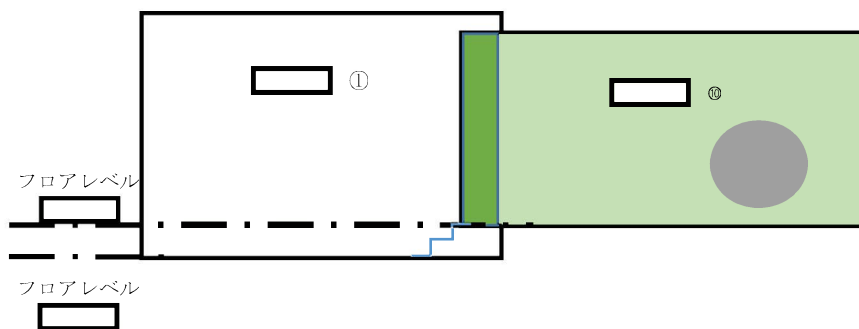


図 1 配置断面

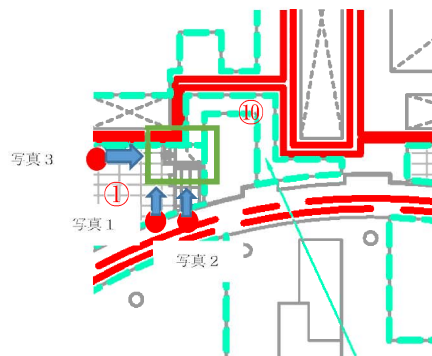


図 2 [ ] ①、[ ] ⑩の平面図

<凡例>

●	: 写真撮影場所
↑	: 写真撮影方向
□	: アクセスルート (人用扉)

1. [ ] の感知区画⑩のアクセスルートについて

[ ] の感知区画⑩のアクセスルートは、隣接エリアの [ ] の感知区画①の人用扉から入室するが、高線量エリアであり、施錠管理されていることから燃料移送管室への立ち入りは困難な状況となっている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1



写真2



写真3

2. の感知区画⑩内の機器について  
の感知区画⑩には、燃料移送管が設置しており、金属製の配管内を燃料が通る。

以上

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

フィルタ室 [ ] の感知区画⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱現場状況について

[ ] 再生クーラ室の感知区画⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面図を図 1 に、また、当該エリアの平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

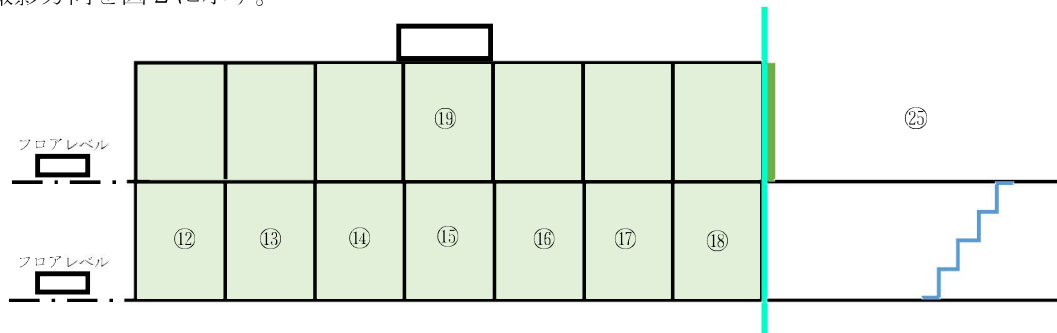


図 1 配置断面

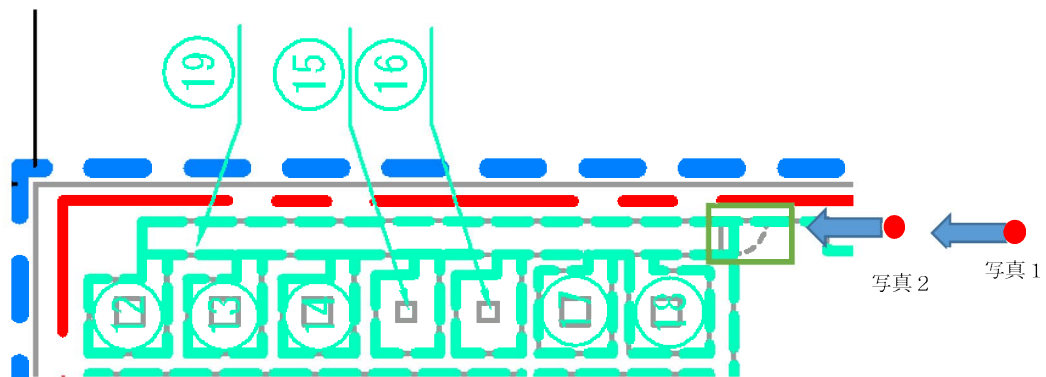


図 2 [ ] ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱の平面図

<凡例>

●	: 写真撮影場所
↑	: 写真撮影方向
□	: アクセスルート (人用扉)

1. [ ] の感知区画⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱のアクセスルートについて  
 [ ] の感知区画⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱のアクセスルートは、隣接エリアの [ ] の感知区画⑳の人用扉から入室可能であるが、高線量エリアであり、施錠管理されていることから、当該エリアへの入室は困難な状況となっている。

[ ] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1



写真2

2. の感知区画内⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱の機器について  
の感知区画⑫にはA冷却材脱塩塔入口フィルタ、感知区画⑬にはB冷却材脱塩塔フィルタ、感知区画⑭には冷却材フィルタ、感知区画⑮にはA封水注入フィルタ、感知区画⑯にはB封水注入フィルタ、感知区画⑰にはA使用済燃料ピットフィルタ、感知区画⑱にはB使用済燃料ピットフィルタ、感知区画⑲には照明器具が設置されている。

以 上

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



脱塩塔室 [ ] の感知区画②③④⑤⑥⑦⑧現場状況について

[ ]再生クーラ室の感知区画②③④⑤⑥⑦⑧」については、凡例I「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面図を図1に、また、当該エリア及び当該エリアの隣接エリア平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図2に示す。

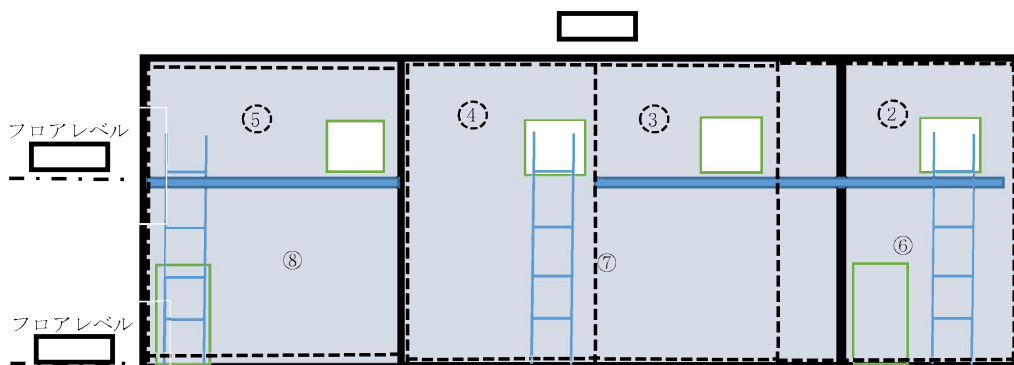


図1 配置断面

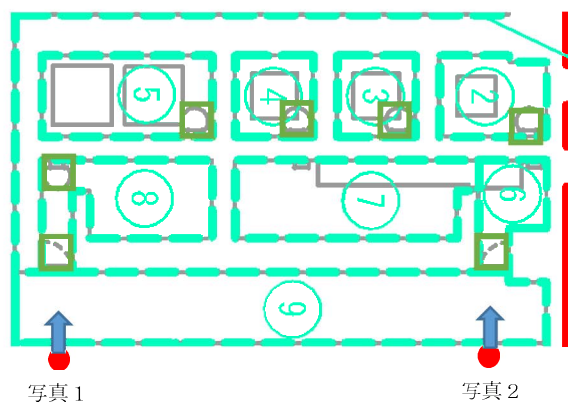


図2 [ ]②③④⑤⑥⑦⑧の平面図

<凡例>

- : 写真撮影場所
- ↑ : 写真撮影方向
- : アクセスルート  
(人用扉、開口部)

[ ] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

1. [ ]の感知区画②③④⑤⑥⑦⑧のアクセスルートについて

[ ]の感知区画⑥⑦⑧のアクセスルートは、隣接エリアの[ ]の感知区画⑨にある人用扉から入室できるが、高線量エリアであり、施錠管理されていることから、当該エリアへの立入は困難な状況となっている。感知区画②③④のアクセスルートは感知区画⑥及び⑦から入室できるが、高線量であることまた、感知区画⑥の人用扉に施錠がなされていることから、当該エリアへの立入は困難な状況となっている。感知区画⑤のアクセスルートは感知区画⑧から入室できるが、高線量であることまた、感知区画⑥の人用扉に施錠がなされていることから、当該エリアへの立入は困難な状況となっている。



写真1



写真2

2. [ ]の感知区画②③④⑤⑥⑦⑧内の機器について

[ ]の感知区画⑥⑦⑧には、金属製の脱塩塔ライン配管及び弁が設置されている。感知区画②には、金属管体の冷却材陽イオン脱塩塔が設置されている。感知区画③には、金属管体のA冷却材混床式脱塩塔が設置されている。感知区画④には、金属管体のB冷却材混床式脱塩塔が設置されている。感知区画⑤には、金属管体のA使用済燃料ピット脱塩塔及びB使用済燃料ピット脱塩塔が設置されている。

以上

[ ] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

再生熱交換器室 [ ] の感知区画⑦-4 現場状況について

[ ] 再生熱交換器室の感知区画⑦-4 については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、放射線量を考慮した感知器配置設計を実施する。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの当該エリアの平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 1 に示す。

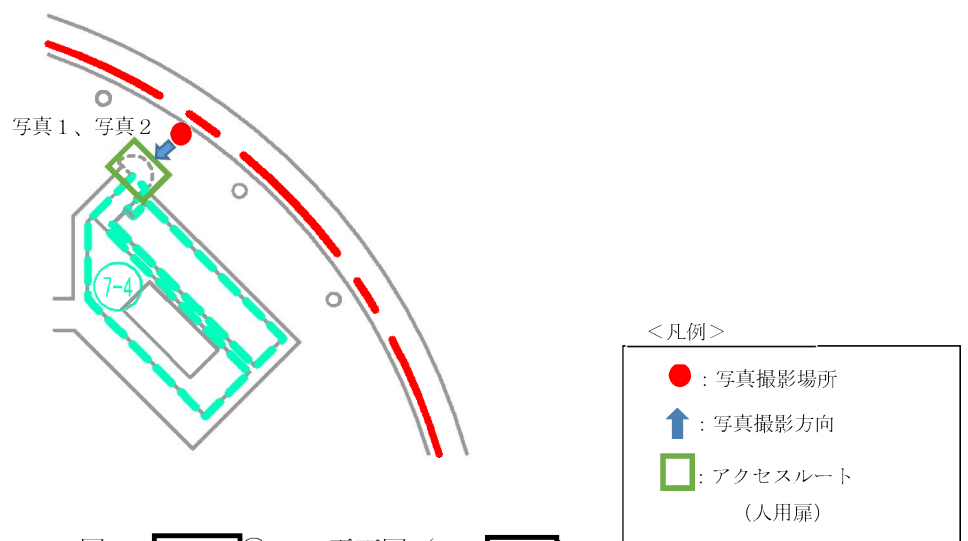


図 1 [ ] ⑦-4 の平面図 (E. L. [ ])

1. [ ] の感知区画⑦-4 再生熱交換器室のアクセスルートについて

[ ] の感知区画⑦-4 再生熱交換器室のアクセスルートは、同感知区画の人用扉から入域できるが、高線量エリアであり、施錠管理されていることから、立ち入りは困難な状況となっている。



写真 1

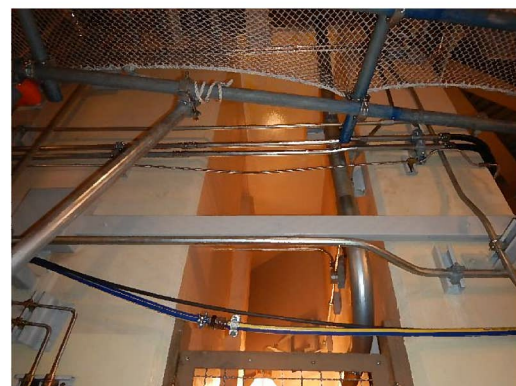


写真 2

[ ] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

2. の感知区画⑦-4 再生熱交換器室内の機器について

再生熱交換器室内には、金属製である再生熱交換器が設置されている。

以 上

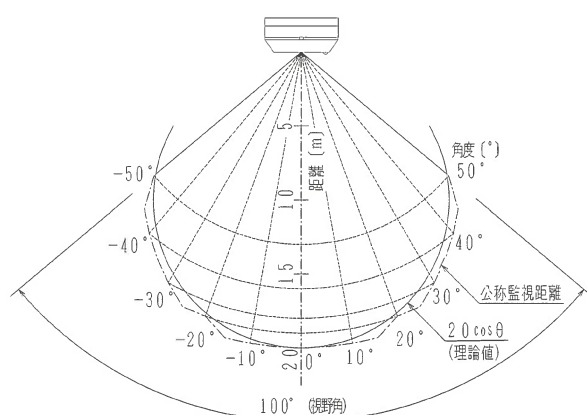
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

炎感知器の監視範囲について

炎感知器は、屋内に使用する炎感知器、海水ポンプエリアエリアに使用する炎感知器、空冷式非常用発電装置に使用する炎感知器、燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアに使用する炎感知器の4種類があり、それぞれの監視範囲について、以下の通り説明する。

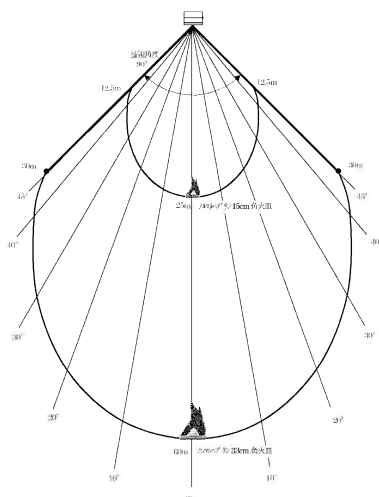
1. 屋内に使用する炎感知器

屋内に使用する感知器は、最大視野角  $100^\circ$  の円錐状となっており、公称監視距離は  $13\text{m}\sim 20\text{m}$  である。



2. 海水ポンプエリアエリアに使用する炎感知器

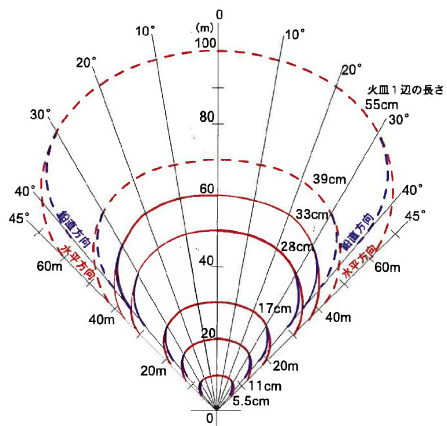
海水ポンプエリアエリアに使用する炎感知器は、最大視野角  $90^\circ$  の円錐状となっており、公称監視距離は  $30\text{m}\sim 60\text{m}$  である。



3. 空冷式非常用発電装置に使用する炎感知器

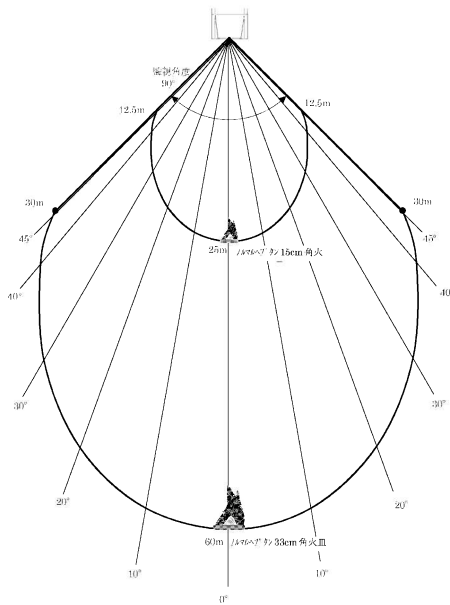
空冷式非常用発電装置に使用する炎感知器は、最大視野角  $90^\circ$  の円錐状となってお

り、公称監視距離は 36m～60m である。



#### 4. 燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアに使用する炎感知器

燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアに使用する炎感知器は、最大視野角  $90^\circ$  の円錐状となっており、公称監視距離は 30m～60m である。



以上

海水管トンネルエリアの感知器設計について

海水管トンネルエリアの感知器設計について以下に示す。

海水管トンネルエリアのトンネル部長さは775mで、トンネル中央部のトンネル幅は4.8mである。

よってトンネル中央部の感知面積は $775 \times 4.8 = 3,720 \text{ m}^2$ となる。

また、トンネル中央部の感知器の取付面高さは4m以上であるため、煙感知器は $75 \text{ m}^2$ に1個、熱感知器は $35 \text{ m}^2$ に1個配置する。

<煙感知器>

$3,720 \text{ m}^2 \div 75 \text{ m}^2 \div 50$ 個

以上より50個を均等に配置する。

<熱感知器>

$3,720 \text{ m}^2 \div 35 \text{ m}^2 \div 107$ 個

なお、既設熱感知器60個の配置を考慮し、計120個を配置する。

火災区域（区画）数の整理及び火災感知器設置個数の整理について

火災区域（区画）数について以下に示す。

3号および4号機 合計数

火災区域 （区画） 総数	既工認の段階で消防 法施行規則の火災感 知器設置個数を満足 している火災区域 （区画）数	感知器B Fにて消防 法施行規則の火災感 知器設置個数を満足 した火災区域（区 画）数	設置許可にて火災感 知器を設置しないと 明記している火災区 域（区画）数
194	27	163	4

火災感知器設置個数について以下に示す。

3号および4号機 合計数

感知器B F 後の火災感 知器総数	既設火災感知器個数	感知器B Fにて消火 設備を流用する火災 感知器個数	感知器B Fにて追加 設置する火災感知器 個数
5601	1813	142	3646



今回修正箇所、追加箇所を赤枠記載とします。

## 2-2 火災区域又は火災区画の火災感知器の配置図について

火災感知器の選定においては、設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を火災防護に関する説明書4.2(1)b.項に示す通り、消防法に準じて選定する設計とする。火災感知器の取付方法や設置個数については、消防法施行規則第23条第4項に基づき設置する設計とする。

また、火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については、消防設備士の確認を受け、消防法施行規則に則り設置する設計とする。

上記を踏まえた火災区域又は火災区画における火災感知器の配置について、次頁以降に示す。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



## (2) 放射線量が高い場所に設置する火災感知器の選定

アナログ式の感知器は10mGy/hを超える場所では1サイクルのプラント運転中に故障すると考えられるため、放射線量が高い場所に設置する火災感知器として、設置許可に記載のアナログ式でない火災感知器の中から具体的な火災感知器種類を選定する。火災感知器種類の選定については、火災防護審査基準の要求事項を踏まえて選定する。

### イ. 火災防護審査基準の要求事項

第 3-6-3 表のとおり火災防護審査基準に基づき、火災感知器に対する要求事項及び火災感知器種類の選定方法を整理する。

### ロ. 火災防護審査要求事項を踏まえた火災感知器の選定

アナログ式の感知器以外の火災感知器を抽出し、第 3-6-4 表のとおり、火災防護審査基準への適合性、火災感知設備の信頼性を基に各感知方式で使用する火災感知器について評価する。

第 3-6-4 表により放射線量が高い場所（10mGy/h を超える場所）に設置する火災感知器の種類は、熱感知方式の「アナログ式でない熱感知器」と煙感知方式の「空気吸引式の煙感知器」とする。なお、設置許可（添付書類八）で原子炉格納容器内ループ室等は「アナログ式でない熱感知器」を設置する方針としているため、「アナログ式でない熱感知器」の使用を優先する。

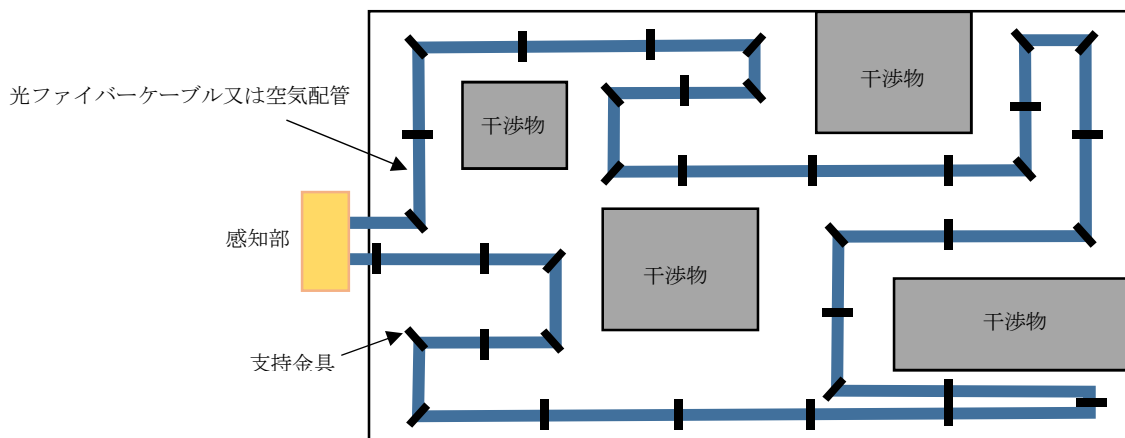
上記に加えて、エリア内の放射線量が低い場所（10mGy/h 以下の場所）に設置する火災感知器の種類は、熱感知方式の「アナログ式の熱感知器」と煙感知方式の「アナログ式の煙感知器」とする。

なお、第 3-6-4 表の網羅性の確保ならびに関連項目のうち現場施工性（網羅性の確保に必要な施工の成立性）について、以下のとおり補足説明する。

以下の 5 つの火災感知器について、干渉物が多い場所における感知性能（技術基準で要求されている網羅性）の確保に必要な配置設計及び施工の成立性を検討した。

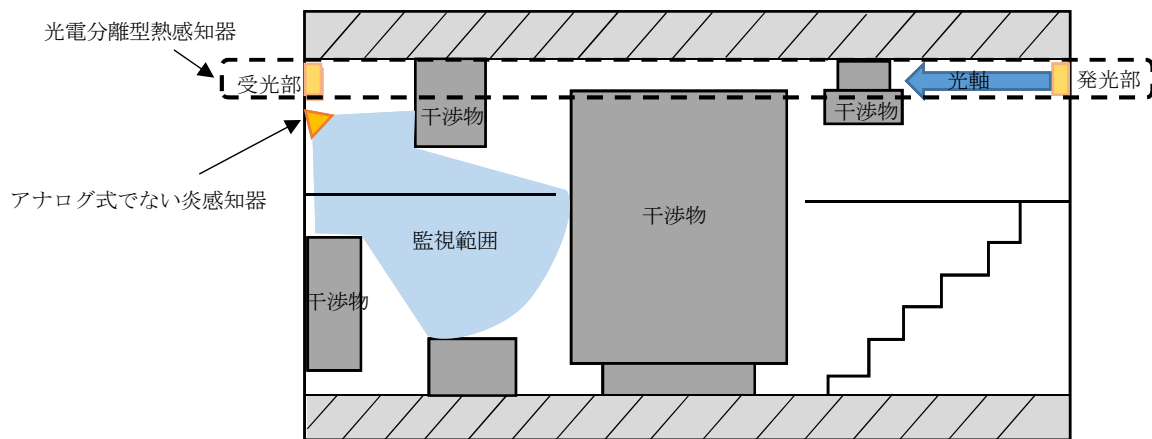
1. 光ファイバーケーブル
2. 差動分布型熱感知器（熱電対式、空気管式）
3. 空気吸引式の煙感知器
4. 光電分離型煙感知器（非蓄積型）
5. アナログ式でない炎感知器

検討の結果、第 3-6-5 図の火災感知器配置イメージ及び第 3-6-6 図の現場写真に示すように、干渉物を考慮した場合に 1～3 の火災感知器は網羅性を確保するための現場施工が困難であり、4, 5 の火災感知器は配置設計が困難と判断している。



天井面から見た平面図

(1. 光ファイバケーブル、2. 差動分布型熱感知器、  
3. 空気吸引式の煙感知器の現場施工の例)



断面図

(4. 光電分離型熱感知器、5. アナログ式でない炎感知器の配置設計の例)

第 3-6-5 図 火災感知器の設置イメージ



第 3-6-6 図 現場写真 (例：格納容器ループ室内)

第 3-6-3 表 火災防護審査基準の要求事項及び火災感知器の選定方法

火災防護審査基準	要求事項	火災感知器種類の選定方法
<p>各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できるよう固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等(感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。)をそれぞれ設置すること。また、その設置に当たっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>火災の早期感知(火災の性質を考慮した異なる感知方式の組合せ)</u></li> <li>・ <u>環境条件の考慮(放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等)</u></li> <li>・ <u>誤作動の防止</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>放射線量が高い場所で使用可能な火災感知器を抽出し、感知方式(熱、煙、炎)毎に基準適合の観点から最適な火災感知器を選定する。</u></li> <li>・ <u>基準適合の観点では、環境条件の考慮(故障の防止、感知性能の確保)、誤作動の防止、網羅性の確保、電源の確保、監視</u>の6項目について評価する。</li> </ul>
<p>感知器については消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)第23条第4項に従い、感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年自治省令第17号)第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防法施行規則で求められる火災区域内の火災感知器の<u>網羅性の確保</u></li> <li>・ 消防法施行規則で求められる<u>感知性能の確保(環境条件の考慮に含まれる)</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、<u>現場への適用性の観点</u>で、<u>施工性</u>を網羅性の確保に含めて評価し、<u>火災感知設備の信頼性</u>を故障の防止の関連項目として参考評価する。</li> </ul>
<p>外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常用<u>電源の確保</u></li> </ul>	
<p>中央制御室で適切に監視できる設計であること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室での<u>監視</u></li> </ul>	

第 3-6-4 表 アナログ式の感知器以外の火災感知器の比較評価

異なる感知方式		熱で感知			煙で感知			炎で感知
火災感知器種類		アナログ式でない熱感知器(スポット型)	光ファイバーケーブル	差動分布型熱感知器(熱電対式、空気が管式)	アナログ式でない煙感知器(スポット型)	空気吸引式の煙感知器	光電分離型煙感知器(非蓄積型)	アナログ式でない炎感知器
基準適合性(消防法施行規則への適合性含)	放射線を考慮(故障の防止)	○	○	○	× 高放射線による電子部品故障	○	× 高放射線による電子部品故障	× 高放射線による電子部品故障
	取付面高さ、温度、湿度、空気流等を考慮(感知性能の確保)	○	○ 網羅性が確保できれば感知性能の確保は可能	○ 網羅性が確保できれば感知性能の確保は可能	○	○ 網羅性が確保できれば感知性能の確保は可能	× 干渉物が多い場所における感知性能の確保は困難	× 干渉物が多い場所における感知性能の確保は困難
	誤作動の防止	○	○	○	○	○	○	○
	網羅性の確保	○	○ 設計どおりに施工できれば網羅性の確保は可能	○ 設計どおりに施工できれば網羅性の確保は可能	○	○ 設計どおりに施工できれば網羅性の確保は可能	× 干渉物が多い場所は、網羅性を確保する感知器配置設計が困難	× 干渉物が多い場所は、網羅性を確保する感知器配置設計が困難
	電源の確保	○	○	○	○	○	○	○
	監視	○	○	○	○	○	○	○
関連項目	現場施工性(網羅性の確保に必要な施工の成立性)	○	× ケーブルトレイのように感知範囲を限定できない場所では、広範囲に支持金具設置、ケーブル敷設が必要で施工困難	× 干渉物が多い場所は、干渉物を避けて広範囲に支持金具設置、検出部の敷設が必要で施工困難	○	× 干渉物が多い場所は、干渉物を避けて広範囲に支持金具設置、配管の敷設が必要で施工困難	× 設計困難により施工不可	× 設計困難により施工不可
	火災感知設備の信頼性(参考)	問題なし	専用盤の設置で部品点数が多くなるため、感知器単品より信頼性はやや劣る	専用盤の設置で部品点数が多くなるため、感知器単品より信頼性はやや劣る	問題なし	専用盤の設置で部品点数が多くなるため、感知器単品より信頼性はやや劣る	問題なし	問題なし
評価	各感知方式で使用する火災感知器	○	△ (施工可能な場合に限る)	△ (施工可能な場合に限る)	×	△ (施工可能な場合に限る)	×	×